

令和6年度

第2回

埼玉県第五採択地区協議会

議事録

令和6年7月25日(木)

開会：午前9時00分

閉会：午後4時30分

朝霞市民会館 ゆめぱれす

3階 会議室 梅

第2回第五採択地区協議会 議事録

期 日 令和6年7月25日(木)

場 所 朝霞市民会館 ゆめぱれす 3階 会議室 梅

開 会 午前9時00分

閉 会 午後4時30分

委 員 和光市教育委員会

教育長

教育長職務代理者

委 員

委 員

和光市保護者代表

事務局次長兼学校教育課長

※() 議事録内表記

(会 長)

(委員A)

(委員B)

(委員C)

【欠 席】

朝霞市教育委員会

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

朝霞市保護者代表

学校教育部長

(副会長)

(委員D)

(委員E)

(委員F)

(委員G)

事 務 局 和光市教育委員会

学校教育課課長補佐兼指導主事

学校教育課副主幹兼指導主事

朝霞市教育委員会

学校教育部教育指導課長

学校教育部教育指導課指導主事

学校教育部教育指導課指導主事

1 開会のことば

司 会 | ただいまより第2回埼玉県第五採択地区協議会を開会いたします。

2 あいさつ

司 会 | 埼玉県第五採択地区協議会 会長 があいさつを申し上げます。

会 長 | みなさん、おはようございます。本日は御多用の中、第五採択地区第2回協議会にお集まりいただきましてありがとうございます。

今回は、令和7年度から使用する中学校全教科の教科書の採択となります。子どもたちの日々の学習活動を支える大切な教科書の採択にあたり、どのような教科書が、子どもたちの学びの質を高めていくのか、また、どのようなところに子どもたちの主体的な学びを支える工夫がみられるのか、といった視点を持ちながら協議をしていくことが必要ではないかと考えています。

さらに、採択にあたっては、公正性・透明性の確保という観点からも、非常に大事になって参りますので、委員の皆様お一人お一人が、子どもたちにとって最良の教科書を選択するという思いをもって、本協議会において活発に発言いただければと思いますので、本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

3 事務局からの連絡

司 会 | 事務局から本日の日程等につきまして連絡いたします。

事務局 | 本日の日程ですが、このあと議事の報告に続きまして、調査員の調査研究結果の報告と質疑応答を行います。その後、協議に入ります。

なお、対象教科は、中学校の全ての教科となっております。

4 議事

司 会 | それでは、議事に入ります。これ以降の議事進行については、会長にお願いしたいと思います。

会 長 | それでは、議事に入ります。

採択に係る情報の積極的な公開が求められておりますことから、議事録作成のために、録音させていただきたいと思います。議事録作成が済みましたら消去いたしますが、御了解いただけますようお願いいたします。

委 員 | (異議なし)

会 長 | 次に、第2回採択地区協議会議事録の署名委員についてお諮りします。

本日の議事録の署名委員については、朝霞市教育委員会 高橋松久委員、和光市教育委員会 山田稔委員にお願いしてよろしいでしょうか。

委 員 | (異議なし)

会 長 | それでは、よろしく願いいたします。

最後に、本日の第2回第五採択地区協議会の公開についてお諮りします。

	本日の午前の調査報告、午後の協議、及び選定につきましては、公開したいと思います、いかがでしょうか。
委 員	(挙手総員)
会 長	ありがとうございます。それでは、協議及び選定につきましては、公開いたします。では、事務局から提案があります。
事務局	教科書（案）の選定につきましては、展示会アンケートや、各学校からの調査研究結果も考慮していただき、調査員の調査研究結果の報告をもとに第五採択地区協議会の規約第11条に従い協議し、決定していただきたいと思います。お諮りいただければと思います。
会 長	それでは、事務局から提案がありました選定方法についてでございますが、協議というかたちでいかがでしょうか。
委 員	(異議なし)
会 長	ありがとうございます。協議の細かいことについては、第五採択地区協議会規約第11条に従って協議の時に確認することといたします。 それでは、報告に入ります。事務局よりお願いします。
事務局	6月18日（火）から7月3日（日）まで朝霞市コミュニティセンターで開催された教科書展示会には、のべ283名の方が来館されました。アンケートの回答内容につきましては、各教科書の内容に関するもの、会場運営に関するもの等がございました。記入者は、保護者、一般の方、教員等でございます。また、各学校からの調査研究のまとめにつきましても、既に委員の皆様にはお渡ししてありますので、協議の際の参考としていただければと思います。
会 長	事務局の説明について、御質問等ございますか。
委 員	(質問なし)
会 長	それでは、調査員の調査研究結果の報告と質疑応答に入ります。 「国語・書写」の調査員代表に、調査結果の報告をお願いします。
調査員代表	それでは、国語書写についてご報告いたします。初めに、4つの発行者におけるそれぞれの教科書は、ともに 国語書写に対する関心を高め、言語感覚や書写能力を育成することができるよう工夫されていることが 調査委員会議において共有された意見であったことをご報告いたします。 先に国語についてご報告いたします。 まず、発行者番号2、東京書籍「新しい国語」についてご報告いたします。 2年生の教科書44ページにあります言葉の力では、その単元で何を学んだのかが分かりやすくまとまっていて、別の単元での既習事項を確認したい時に提示

しやすい工夫がされています。

また、同じページの上にある「手引き」を活用することで、生徒が授業の見通しを持って主体的に学習に取り組み、学びを深めることができます。この単元では、内容理解に必要なになってくる歴史的な知識がコンテンツで提示されており、教科書を読んだだけでも学習内容を大まかに理解できるよう工夫されています。

デジタル教材については、各学年ともに二次元コードによるコンテンツを含めて資料が豊富で、教科書一冊で様々な学習活動が可能となり、生徒たちの興味関心が高められるよう工夫されています。

特にコンテンツの中には、2年生の48ページにあります、動画によるスピーチの例や、2年生の226ページにあります 文法の問題が充実しており、生徒たちの知識が定着し、効果的に発展した学びにつなげることができるよう工夫されています。

次に、発行者番号15、三省堂「現代の国語」についてご報告いたします。

2年生の教科書の34ページ下にありますが、「各単元における思考の方法」では、フローチャートやイラストを使うことで思考のイメージを視覚化しているため、生徒が学習の理解を深めることに役立っています。また、2年生の44ページにあります、「読み方を学ぼう」では、題材を読むことについて解説があり、授業の導入で読み方解説動画を視聴することで、学習の方向性をつかみやすくなっています。さらに、2年生の35ページ下にありますが、「各単元における語彙を豊かに」では、本文と関連する語句の解説が詳しくされていることで、生活する上で必要な語彙力を身につけるのに役立っています。

2年生の26ページにあります各単元の目標には、特に力を入れるべき内容が色付きで強調されており、学習について重点的な目標が理解しやすく、学びを深めるための一助となっています。

デジタル教材については、学習を支える補足資料が豊富で見やすく、生徒が二次元コードから簡単に視聴でき、主体的に思考を深められ、家庭学習において意欲的に活用し、自主的な学習に役立てるよう工夫されています。

続いて、発行者番号17、教育出版「伝え合う言葉 中学国語」についてご報告いたします。2年生の248ページ下にありますが「領域別学びナビ」では、学習の観点が記載されていて、他の教材との関連性を理解し、主体的に学習を応用できる工夫がされています。また、2年生の212ページにあります「学びチャレンジ」では、資料を読み取る力や要約する力を的確に育成し、主体的に思考、判断し、適切に表現するための力を身につけられるよう工夫されています。そして、表記において、カラーユニバーサルデザインにより、教科書全体の色調のバランスが良く、学習内容を識別しやすい工夫がされています。デジタル教材では、指導書をウェブブラウザでデジタル化しており、教師が全学年の既習事項の確認をすることができることで、生徒に3年間を見通した学習の流れを提示するのに役立ちます。

さらに、2年生の14ページ下にありますが、「学びに」のワールドカフェ方式ジグソー学習等の動画では、生徒が収集、整理、表現するなどの方法を主体的に選択し、他教科にも活用できる工夫がされています。

続いて、発行者番号38、光村図書出版「国語」についてご報告いたします。

話すこと、聞くこと、及び書くことの単元では、2年生の32ページにあるように、内容が図式化していて、字のフォントを工夫するなど、分かりやすく理解できるよう記されています。

また、2年生の51ページにあります、単元の終わりの「学びの鍵」は、教材で身につけられた資質・能力を図で分かりやすく示されており、教材に対する思考を深めることに役立っています。そして、2年生の50ページにあります、「学びへの扉」は、生徒が主体的に教材の内容を捉え、見通しを持って学習することで、課題解決能力を養える工夫がされています。さらに、2年生の267ページにあります「語彙ブック」では、小学校からの学習が連動し、各学年ともに言葉に関する内容が一覧表で示され、他教科の学習にも役立つようになっています。

デジタル教材では、二次元コードによるコンテンツが随所があり、生徒自ら活用することで、学校でも家庭でも学びを深めることに役立つよう構成されています。

続いて、書写についてご報告いたします。

まず、発行者番号2、東京書籍「新しい書写」についてご報告いたします。

二次元コードのコンテンツや教科書の資料を活用しながら学習することで、生徒が主体的に課題解決に取り組み、より良い形で思考を深めながら学ぶことができます。

また、各単元にある18ページなどの「見つけよう」では、学習内容を言葉で進めさせようとする部分が多く、生徒が考えながら学習を進めようとする態度の育成に役立っています。そして、44ページにあります「書写テストに挑戦」という知識と技能を問う練習問題が各学年ごとに設定されていて、既習事項の確認とともに入試対策にも活用できるようになっています。さらに、目標や学習のポイントを分かりやすくおさえた26ページにあります、「書写の鍵」があることで、生徒自身が単元の見通しを持って学習に取り組むことができるよう工夫されています。

デジタル教材では、生徒によっては習得しづらい運筆が、朱墨付きの手本や動画により、実際の筆の動きを見ることで、適切に理解を助け、自ら進んで学びを深めようとする主体的な姿勢を身につけられるように工夫されています。

次に、発行者番号15 三省堂「現代の書写」についてご報告いたします。

6ページの小学校書写、86ページの高等学校書道との連携により、書写、書道への幅広い興味関心が生徒に身につけ、豊かな学びを深めるための学習活動に役立っています。

また、万葉仮名から現代仮名への変遷を併記することで、生徒に現代仮名の字形や筆順を意識させることができ、より整った字を書こうとする態度の育成につながるよう工夫されています。そして、68ページにあります、「身の回りの文字」では、日常生活に普及している様々な文字について説明されており、豊かな文字文化に触れるきっかけとなっています。

さらに、国語の教科書の題材から本文を引用することで、引用ごとの文章に興味を持たせ、国語の学習意欲の向上につながる工夫がされています。

デジタル教材では、補充教材が豊富であり、学習者用、指導者用ともにデジタル教科書が用意され、生徒の主体的に学ぼうとする姿勢を養うことができる

よう工夫されています。続いて、発行者番号 17、教育出版「中学書写」についてご報告いたします。毛筆を書くにあたり、10 ページにあるように、「目標」として硬筆での試し書き、「生かそう」としてまとめ書きと応用というページ構成になっており、字を整えて書く力を身につけるための練習の機会が効率よく設定されています。また、20 ページをご覧いただくと、見開き完結型の形式をとっており、毛質と硬筆の学習を共に関連させて取り組めるよう工夫されていて、書写における、書く力を効率よく身につけることができるようになっています。そして、91 ページにあります「振りかえろう」では、生徒が自分の学習を、記号で自己評価して目標に立ち返り、自らの学びを再確認できるようになっています。

デジタル教材では、2 次元コードによる教材の動画により、毛筆、硬筆における楷書、行書の運筆の様子と、実際の自身の運筆を見比べながら、生徒が自らの学習課題を見出して書写に取り組むことができるよう工夫されています。

最後に、発行者番号 38、光村図書出版「中学書写」についてご報告いたします。

40 ページにあります、「考えよう、確かめよう、生かそう」の流れで、学習の取り組みが進行していくことで、見通しを持ち、学びを深めることができるよう構成されています。また、「生かそう」では、毛筆で学習した基本的な点角を硬筆で練習する枠が設けられていて、日常使用する時に生かすことができるよう工夫されています。

そして、別冊の「書写ブック」では、毛筆の練習で学んだ内容を硬筆の練習に活かせるよう工夫されていて、生徒が学習を振り返りながら整った字を書こうとする態度の育成に役立っています。さらに、70 ページにあります、「考えよう」では、文字を観察、比較し、発見することで、生徒自身の文字を整えて書こうとする姿勢を身につけられるよう工夫されています。

デジタル教材では、二次元コードの動画により、書写における学習内容が様々なポイントに分けて解説されているので、生徒が主体的に意欲を持って学習に取り組める工夫がされています。

これで、国語・書写の報告を終わりにいたします。

会 長 ただ今の国語・書写の研究報告につきまして、ご質問ございますでしょうか。

委員A それぞれ教材の内容がかなり違うと思うんですが、中学生でわかりやすい教材、もしくは難しい教材を使っている、という教科書はどれだと考えていますか。

調査員代表 どの教科書につきましても分かりやすい内容で、難しいととらえるところがなかなかない。わかりやすい解説もついておりますので、子どもたちの主体的な学びにはとてもいいことだと考えます。

会 長 他にはいかがでしょうか。

副会長 書写についてですけれども、QR コードがついていると思うのですが、左利き

	の子に対する書き方については、各教科書会社でどのように扱っていますか。
調査員代表	私が確認したところでは、各社に取り組みがあるのですが、特に教育出版、光村図書で動画による記載がございましたので、非常に左利きの生徒につきましては有効であるかと思います。
会 長	他にはいかがでしょうか。
委員A	動画についてですが、筆で書くときに、上から映している動画と、横から映している動画、どちらが感覚的にわかりやすいと思われますか。
調査員代表	そうですね。目線としてはやはり上から見た方が子どもたちには感覚的にわかりやすいと思うのですが、やはり筆の様子ですね、筆圧とか動きとか見るところでは、横からの方がわかりやすいかと思います。特に光村の動画では、一画一画を、朱墨をちょっとこうグラデーションで薄めたような感じで、よく分かるような形で動画になっていますので、そこは子どもたちにとってわかりやすいと思います。
会 長	他にはいかがでしょうか。
副会長	書写で、資料に常用漢字表が、楷書と行書と両方出ておりまして、常用漢字以外の人名用漢字表というのもあるのですが、今は子どもたちの名前も多様化しておりまして、書きぞめの時などに名前を書いたりするときに役に立つと思うのですが、どうお考えですか。
調査員代表	そうですね。子供たちがやはり自分の名前を行書で書く場合には戸惑いがあると思うのですね。そういった時には、この最後に載っている、こういう（人名用）漢字表、とてもよく活用できると思います。ただ、大きさの問題があって、実際にこの各部の大きさではないので、そこを教師側がどのように指導する際に活用するかというところにかかってくるのではないかなという風に思います。
会 長	他いかがでしょうか。それでは、ありがとうございました。 次に、「数学」の調査員代表に、調査結果の報告をお願いします。
調査員代表	これから「数学」について、調査研究内容をご報告いたします。 「数学」では、7つの出版社について、「内容（知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養、数学的に考える資質・能力の育成の4観点に着目）、資料、表記・表現」を基本に項目立てながら、調査研究を行いました。 資料1 ページ目「東京書籍・新しい数学」をご覧ください。 内容では、＜知識及び技能＞の観点では、アニメーションの視聴、導入での資料、ワークシート、演習問題等、「個別最適な学び」を実現するためのQRコンテンツが導入されていました。＜思考・判断・表現力＞の観点では、「学

びを振り返ろう」のコーナーで数学的な見方・考え方を振り返って価値づける機会が設けられていました。＜学びに向かう力・人間性＞の観点では、満水になるまでの時間、80℃になるまでの時間、ジェットコースターの進む様子等、章のとびらや節の導入で日常生活と結びついた題材を多く取り入れ、生徒が意欲的に学習に取り組めるように工夫されていました。＜数学的な資質・能力＞の観点では、「ふり返り」や「レポート」のコーナーが充実しており、数学的活動を充実させる要素が豊富に盛り込まれていました。

資料では、「日常とつながる」「地域とつながる」「数学と仕事がつながる」「見方・考え方でつながる」等、自分たちを取り巻く社会生活との「つながり」を意識した構成がなされていました。

表記・表現では、問題解決の過程で大切にしてほしい考え方の例や、学びを深めるためのキャラクターの吹き出しを扱う工夫がなされていました。

最後に全体的な総括として、生徒のクリティカルシンキング（批判的思考）の力を育成しようとする意図が感じられ、物事を正しく判断し、よりよい解決や結論を見出そうとする力を養おうとする構成がなされていました。

資料2ページ目「大日本図書・数学の世界」をご覧ください。内容では、＜知識及び技能＞の観点では、「たしかめ」「Q」「プラスワン」等の繰り返し練習する機会が豊富に設けられていました。＜思考・判断・表現力＞の観点では、「Q考えよう」「Q判断しよう」「Q伝えよう」など、学習した内容をもとに思考を深めたり判断したり伝えたりさせる場面が多く設けられていました。＜学びに向かう力・人間性＞の観点では、「問題を見いだそう」「解決のしかたを探ろう」「解決しよう」「深めよう」等、各章の「利用」の課題で、思考の段階に対応させて問題発見・問題解決の流れが示されていました。＜数学的な資質・能力＞の観点では、読みもののページ「MATHFUL」で、数学を学ぶことの面白さや考えることの楽しさを生徒に実感させる学びの場が充実していました。

資料では、写真や図、イラスト等、課題や本文のイメージが捉えやすいものとなっていました。

表記・表現では、読みやすい位置での改行や文量の工夫がなされていました。また、小学校や前の学年で学んだ用語・記号が必要に応じて側注に示されていました。

最後に全体的な総括として、作図問題での十分なスペースの確保、正十二面体や正二十面体の巻末付録、証明問題での穴埋め形式、三平方の定理の証明ツール等、図形の指導が丁寧に扱われている印象を受けました。

資料3ページ目「学校図書・中学校 数学」をご覧ください。

内容では、＜知識及び技能＞の観点では、「計算力を高めよう」のコーナーで、計算練習を充実させる場が充実していました。＜思考・判断・表現力＞の観点では、図形の見方が複数ある問題で、キャラクターが会話形式で疑問やアイデアを伝え合い、見方や考え方の幅を広げていました。＜学びに向かう力・人間性＞の観点では、日常生活や社会にいかす章のまとめの問題で、「活用」が設定されており、生徒が身のまわりの生活とのつながりを意識しながら取り組むことができる構成がなされていました。＜数学的な資質・能力＞の観点では、「Tea Break」のコーナーで、高等学校で学ぶ内容を紹介し、生徒が発展・統合的な学習を興味・関心を持って取り組めるように構成さ

れていました。

資料では、生徒にとって身近な題材や興味のもてる題材を数多く取り上げるとともに、学習内容に関連するコラムなどの特設ページが豊富に用意されていました。

表記・表現では、数学的な表現やその正確性を尊重しながら、生徒の発達段階を考慮した、誰もが理解しやすい記述がなされていた。挿絵やキャラクターの登場も生徒が親しみを感じやすく、理解の助けとなるように、効果的に配置されていました。

最後に全体的な総括として、特定の答えを問う内容によらず、「説明しなさい」など、自分の言葉で思考の様子を答えさせる問題が、多く設けられている構成が、印象に残りました。

資料4ページ目「教育出版・中学数学」をご覧ください。

内容では、＜知識及び技能＞の観点では、「学習のまとめ」で基礎的・基本的な内容を生徒自ら確認できるようになっていました。＜思考・判断・表現力＞の観点では、「？（学習過程で生じる生徒の疑問）→！（学習して分かったこと、解決の仕方）→！？（新たな疑問）」という構成に、思考・判断・表現力を育成する工夫がなされていました。＜学びに向かう力・人間性＞の観点でも同様に、「？→！→！？」という構成が、学びに向かう力・人間性を涵養するのに大変適しているように感じられました。＜数学的な資質・能力＞の観点では、生徒が「わかった」「できた」を実感できるよう、二次元コードを読みとることで学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる「まなびリンク」が設定され、「操作」「統計ツール」「動画」「資料」「リンク」のコーナーが大変充実していました。

資料では、表紙や扉絵で学習内容に関連する写真を用い、章末などのコラムで説明を与えていました。また、内容に関連する職業を紹介することで、数学を学ぶことの意義やその有用性が生徒が感じられるような工夫がなされていました。

表記・表現では、定理や疑問点、新たな発見を、生徒に視覚的に訴えかけるようあざやかな色で囲み、ページの流れと共に、目立たせていました。

最後に全体的な総括として、新しい章を学習する際に、それに関連したこれまでの既習事項が確認できるようにまとめられていました。また、章で学んだことを最後に確認できる場が充実しており、数学の学習の系統性を大切にする工夫がなされていました。

資料5ページ目「啓林館・未来へひろがる数学」をご覧ください。

内容では、＜知識及び技能＞の観点では、シミュレーション、動画、スライドショー、リンク、問題解説、補充問題、例題の解説動画等、個別最適な学びを実現するためのQRコンテンツが豊富に導入されていました。＜思考・判断・表現力＞の観点では、「身のまわりの生活から問題を発見し、解決し、解決の過程を振り返って改善を図ったり新たな問題を設定したりする」ということが意識できるように構成されていました。＜学びに向かう力・人間性＞の観点では、ジェットコースターや水の増加等、生徒にとって考えやすい身近なものを関数の導入の場面で取り上げ、数学が社会で有用に働いていることを生徒が実感しながら、考えることができるように工夫されていました。＜数学的な資質・能力＞の観点では、自分の考えを表現し、わかりやすく他者に伝える場面

を「説明しよう」「話し合おう」「まとめよう」として、丁寧に設定していました。

資料では、情報が過多にならずよく精査されており、生徒への教材の圧迫感が少ないと感じられました。

表記・表現では、定理や重要語句等を色や線種等を鮮やかに使い分け、分かりやすくまとめる構成がなされていました。

最後に全体的な総括として、構成が非常にシンプルにまとめられていました。絵や写真の数も最小限に抑えられており、学習に対する生徒への圧迫感を最小限にしようとする配慮が感じられるまとまりとなっていました。

資料6 ページ目「数研出版・これからの数学」をご覧ください。

内容では、＜知識及び技能＞の観点では、土台となる既習の内容を見返す「ふりかえり」の場を設けられ、学びのつながりを意識させながら、生徒にスムーズに理解させる工夫がなされていました。＜思考・判断・表現力＞の観点では、日々の学びに見方・考え方をはたらかせる生徒キャラクターが数多く登場し、対話形式で展開することにより、生徒が自分の考えを数学的に説明する力を育成できる構成となっていました。＜学びに向かう力・人間性＞の観点では、QRコンテンツが充実しており、全国都道府県公立高校の過去5年分の入試問題を自分で検索して解くことができる工夫がなされていました。＜数学的な資質・能力＞の観点では、鍋の大きさやアイスクリームディッシャー等、身近なものを題材にした問題が多く、日常生活を数学的にとらえる視点を生徒に養わせる工夫がなされていました。

資料では、全国学力・学習状況調査で、課題があると報告されている内容、主に「数学的な見方・考え方」を育成しようとする丁寧に進められ方がなされていました。

表記・表現では、他教科との関連等の記載が豊富に盛り込まれていました。最後に全体的な総括として、「数学旅行」のコーナーは、数学を学習してきた生徒たちへの贈り物的な要素が感じられました。また、SDGsの観点や防災・キャリア教育、他教科等との横断的な学習を意識した構成が、全体を通して丁寧になされていました。

資料7 ページ目「日本文教出版・中学数学」をご覧ください。

内容では、＜知識及び技能＞の観点では、2年生「図形の性質と合同」で、証明は全文が書いてあったり、穴埋め形式にしてあったりして、苦手な生徒にも取り組みやすく、知識や技能を習得しやすい工夫がなされていました。＜思考・判断・表現力＞の観点では、問いには「考えよう」「話し合おう」「深めよう」「説明できるかな?」「まちがえやすい問題」等の記載がなされ、数学的な思考・判断・表現力等を養う構成がなされていました。＜学びに向かう力・人間性＞の観点では、教科書の冒頭に「学びに向かう力を育てよう」の記載が盛り込まれ、ねらいとする生徒の学習に取り組む態度が、確かな原理・原則として示されていました。＜数学的な資質・能力＞の観点では、見る・身につける・調べる・ためす・図形のまとめ・統計ツールに区分けされた「教科書QRコンテンツ」が充実していました。

資料では、各学年に4か所「学び合おう」のコーナーが設定されていました。巻末にはそれらに関連したワークシートが用意されており、生徒が授業で活用しやすいものとなっていました。

表記・表現では、一時間の授業の流れが分かりやすくまとまっているつくりになっていました。生徒が見通しをもって授業に臨めるように「めあて」がはっきり示されていたり、生徒が統合的・発展的に考えられるように「次の課題」が示されていたりしました。

最後に全体的な総括として、巻末にある「ふり返しシート」「対話シート」は、生徒が簡易的に切って、ノートに貼れるような工夫が見られ、効果的に活用できるような工夫がなされていました。また、生徒同士の学び合いを大切に考える意図が明確に表れていました。

会 長 以上で、「数学」についての調査研究内容のご報告を終わります。

委員A ありがとうございました。ご質問がありましたらお願いします。

数学が嫌いな子が結構いると思うのですが、その場合、やはり社会生活とか身の回りのことを題材にして数学を学んでいくのが一番入りやすいと思うのですが、それについてはどの教科書もそういうものを取り入れていらっしゃるのか、それとも特にこの教科書が優れているというのがあるのでしょうか。

調査員代表 はい。今のご質問に対する回答ですけれども、7つの会社とも新しい時代に即した学びということで、やはり身の回りの生活と今学習している内容がどう結びついているかというところを本当に丁寧にまとめられている印象を受けました。例えば三平方の定理であれば、整地とか、直角を本当にきちんと設けないと正しい建物が建てられない。そういうようなものを特集しているとか、関数では、ずっと並んでいなくても、予想すればこれぐらいの時間で待ち時間を解消できるだろうな、渋滞の解消の問題とか、そのあたりが色々な会社でまとめられているところがあります。それで、たぶんこれから学習していく子どもたちは、今やっている学習がきっと将来に非常に意味を成すんだろうな、といったものを印象付けるような作りがどの教科書にもなされていると思います。それと、もう一つだけ言わせてください。数学はやはり系統性の学問なので、あるところの躓きがずっとそのままだと、次がどんどん苦しくなってしまうので、数学嫌い、算数嫌いが増えていってしまうんですね。そのあたりを助けるために、小学校の時に学習してきた内容が、この章ではこのように繋がりますとか、去年の学年ではこのようなことを学習していましたね、というような、振り返り、見直しのようなコーナーがどの教科書にも丁寧に盛り込まれているので、非常に子どもを助けるつくりになっているなという印象を受けました。

会 長 他よろしいですか。ありがとうございました。
それでは、「社会」の調査員代表に、調査結果の報告をお願いします。

調査員代表 これより、社会の調査研究の結果について、報告いたします。
はじめに、地理でございます。地理では、4社について、調査研究を行いました。

まず、社会・地理1ページ、東京書籍をご覧ください。全体を通して、課題や資料の提示の仕方、単元のまとめ活動において工夫されています。特に、単

元を貫く探究課題、1 単位時間の学習課題解決に向けて、見方・考え方が働くように「問い」を軸にして構造化し、生徒が主体的に学習を進められるよう工夫されています。また、他分野と関連している資料や特設ページには、「分野関連マーク」が設定され、歴史、公民と他教科との関連を図った教科横断的な学びができるよう工夫されています。

社会・地理 2 ページ、教育出版をご覧ください。見開き 1 単位時間ごとに学習課題が示され、「THINK！」や「確認／表現」の中の問いに取り組むことで、グループ学習を含み、主体的に課題解決が図れるよう工夫されています。特に、「地理の技」では、個人またはグループ活動を通して、地理学習で身に着けたい技能や表現力を養えるよう配慮されています。「関連マーク」により三分野の学びを関連させ、系統的な学習が展開できるように工夫されています。

社会・地理 3 ページ、帝国書院をご覧ください。導入で単元を貫く問いを明示し、1 単位時間の学習課題の提示と振り返りがしやすく、「学習を振り返ろう」で、更に自分の課題に対しての考えを深められるよう工夫されています。

「技能をみがく」では、地理的な見方・考え方を働かせる上で、必要な基礎的な技能が習得できるよう工夫されています。写真や統計資料などと文章が、バランス良くレイアウトされています。写真が豊富で非常に見やすく、本文の理解度を高める工夫がされています。同系の地図帳とのつながりが深いです。

社会・地理 4 ページ、日本文教出版をご覧ください。見開き 2 ページごとに学習課題が明示され、課題ごとに「見方・考え方」を示し、生徒が主体的に考えやすいよう、また「まとめと振り返り」では、習得した知識を活用し単元を貫く問いについて生徒が自分の考えをまとめられるよう、工夫されています。また、基礎的・基本的な知識・技能の定着をねらいとした、「確認」「表現」コーナーにより、文章化・言語化できるよう工夫されています。QR コード数は 152 と多いです。連携コーナーでは、小学校の既習事項を確認できます。

次に、歴史でございます。歴史では、9 社について、調査研究を行いました。

まず、社会・歴史 1 ページ、東京書籍をご覧ください。各章ごとの導入とまとめに多くの工夫がされており、単元を貫く課題に対する課題解決学習が強く意識されています。また、まとめでは、思考ツールや生徒主体の学習活動内容が用意されているため、多様な方法で学習内容をまとめ、探究する活動が行えるよう工夫されています。QR コードを用いた動画や拡大資料、「NHK for school」などのデジタルコンテンツが大変充実しており、生徒の興味・関心をひきやすいです。用語解説を巻末資料とし、本文が簡略化され、読みやすくなっています。

社会・歴史 2 ページ、教育出版をご覧ください。見開き 1 単位時間とし、導入資料、学習課題が記されており、各章末の「学習のまとめと表現」で、章ごとに時代の移り変わりや出来事を時系列で整理して振り返ることができるので、歴史を大観しその流れを掴みやすくなっています。また、自分の考えを表現させたり、章全体を貫く問いに応答する活動をさせたりして、課題を追究・解決できるようになっています。巻末の歴史年表が一面で確認できるメリットはありますが、デジタルコンテンツが少なく、資料が多く細くなる面もあると指摘がありました。

社会・歴史3ページ、帝国書院をご覧ください。見開き1単位時間とし、導入資料、学習課題が記されており、「確認しよう」をまとめに設け、知識の定着を図っています。大判のイラストによる「タイムトラベル」は、生徒の興味・関心を引き出すとともに、各時代のイメージだけでなく、他の時代との比較にも活用でき、様々な学習に生かせる工夫がされています。「アクティブ歴史」では、具体的なテーマを生徒同士で意見交換するなどの活動的な学習を通して考察し、学びを深める工夫がされています。

社会・歴史4ページ、山川出版社をご覧ください。見開き1単位時間とし、導入資料、本文、補足資料が記されており、世界史と日本史の関連が多く、歴史の流れをつかめるよう記載されています。「地域からのアプローチ」が設定され、地域の歴史を多面的・多角的に考えられるよう工夫されています。扱う人物が多く、世界の歴史がより細かく記載されていることから、歴史に対するより深い理解と多くの知識を身に着けることができます。章を貫く問いの設定がないので、生徒が見通しをもった学習を行うことが難しいと指摘がありました。

社会・歴史5ページ、日本文教出版をご覧ください。見開き1単位時間として、「導入資料」、「学習課題」、「本文」、「確認」、「表現」で構成され、単元を貫く問いに沿った学習が意識され、「確認」、「表現」では、考えを説明させる問いが示されており、生徒が主体的に見通しを持った学習に取り組みやすくなっています。デジタルコンテンツのポートフォリオによって学習内容を予想したり、まとめたりしやすく、生徒の思考力や表現力を高める工夫がされています。時代に沿って学ぶだけではなく、未来のためのヒントや様々な視点で歴史を捉えられるよう配慮しています。

社会・歴史6ページ、自由社をご覧ください。見開き1単位時間として、導入資料、学習課題が記されています。章ごとに人物や出来事をコラムで取り上げて多角的な視点を紹介し、学習意欲を喚起する工夫がされています。「もっと知りたいコラム」により、その時代の人物や時代背景を更に掘り下げることで理解を深めることができるよう工夫されています。中学生のキャラクターが発問やそれに対しての考えや手がかりを示すことで、生徒が主体的に取り組めるよう工夫されています。資料ごとに吹き出しがついており、資料を読み取る視点が示されています。

社会・歴史7ページ、育鵬社をご覧ください。見開き1単位時間として、導入資料、学習課題、本文、学習のまとめで構成されており、1時間の授業や単元の流れで、「課題をつかむ」「課題について調べる」「課題についてまとめる・表現する」という流れが示されており、主体的・対話的な学びを通して、学習の定着が図れるよう配慮されています。人物や出来事をコラムで取り上げて、多角的な視点から詳しく解説し、本文の学習内容に関連する知識を定着させようと工夫しています。「学習のまとめ」では、年表や地図、表などを活用してその時代の歴史を大観し、表現する学習活動が設けられています。

社会・歴史8ページ、学び舎をご覧ください。見開き1単位時間として、導入資料、学習課題、本文、学習のまとめで構成されています。全体を通して、疑問や問いが生まれやすいように図版や記述が工夫されていますが、生徒の主体的な学習を妨げないよう、本文中の太字はなく、女性についての記載や世界や東アジアから歴史を見る等多様な視点で歴史を学べるよう配慮されています。

また、中学生にはやや難しい表現もあり、太字表記がないため、生徒は重要語句を判断しづらく、基礎基本の定着にはやや課題があるとの指摘がありました。

社会・歴史9ページ、令和書籍をご覧ください。1単位時間が見開き2～6ページとし、学習課題、本文、文献資料で構成されています。歴史的事象をより分かりやすくするために、現代社会と比較する記述があります。巻末に資料がまとめられていることで、時代による地域の変化や芸術作品の違い等が把握しやすくなるよう工夫されています。教科書というより、読書用の本として考えると生徒は楽しく歴史を学んでいけます。歴史の連続性を実感できるよう配慮されています。字が小さく、ページ数が多く、内容が細部にわたっており、中学生としてはボリュームがあるのではとの指摘がありました。

次に、公民でございます。公民では、6社について、調査研究を行いました。

まず、社会・公民1ページ、東京書籍をご覧ください。「単元の構成」で課題解決的な学習のプロセスが可視化され、学習課題、本文、資料、チェック&トライ等、定位置に配置することで、1時間の学習の流れがわかる工夫がされています。単元のまとまりを意識して、深い学びにつなげることができるよう単元を貫く探究課題を設定し、段階を踏んでスムーズに課題を解決できる構成になっています。コラム「未来にアクセス」では、各地の取り組み事例を取り上げ、持続可能な社会の実現に向け考えられるよう工夫されています。

社会・公民2ページ、教育出版をご覧ください。各章の学習のはじめに課題を捉え、見通しを立て、課題解決的な学習を積み重ね、まとめ学習で振り返り、考察する流れとなっています。章末の「学習のまとめと表現」は、3ステップ構成で基礎的な学習内容の確認から資料活用、章の問い、未来にできることを自分なりに考えることができるよう工夫されています。現代や過去の社会的事象について、資料を的確に活用しながら多面的・多角的に考察して、情報を批判的に読み解き公正に判断する力を養えるよう工夫されています。

社会・公民3ページ、帝国書院をご覧ください。単元のはじめに、イラストを読み解く学習活動を通して、単元の学びを見通し、単元のまとめで、思考ツールや対話的な学びを通して、節や章の問いに取り組み、単元の学習を振り返る流れとなっています。「アクティブ公民AL」では、具体的なテーマを設定し、現代社会の見方・考え方を働かせて、自分の意見をまとめたり他者と意見交換をしたりしながら、学びを深められるよう工夫されています。「自分事」として社会に参画する意識を育む内容で、実社会に興味を持たせ学習できるよう工夫されています。

社会・公民4ページ、日本文教出版をご覧ください。構造的に「章の問い」や「節の問い」が設定され、その回答を行うコーナーやページがあり、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されています。1授業時間ごとに学習課題を示すだけでなく、学習課題の解決に向けた授業や生徒の思考の流れを重視しており、「見方・考え方」を働かせる工夫がされています。主体的に学習に取り組む態度を育てるため、ポートフォリオを使い、自らの学びを自己調整したり、変容を見とったりすることができるよう工夫されています。

社会・公民5ページ、自由社をご覧ください。各単元のはじめには、学習課

題が提示され、終わりには「ここがポイント！」が示され、基礎的・基本的な内容の定着を学習過程を通して図れるよう工夫されています。各章の最後に「学習のまとめと発展」、終章のレポート、卒業論文、ディベート等が設定され、様々な表現活動に取り組めるよう工夫されています。重要な事柄を深く理解するために、コラム「もっと知りたい」が関連する単元に設けられており、思いがけないことを面白く表現されており、生徒の興味・関心が高まるようになっています。

社会・公民6ページ、育鵬社をご覧ください。各章の導入「入り口」では、学習内容の大筋を捉えさせる言語活動を示し、章末「これから」では、社会にみられる課題について考察・構想をすることで個人と社会との関わりを中心に学習理解を深められるよう工夫されています。発表や討論の仕方、ロールプレイング、ディベート、KJ法、ランキング、ポスターツアーなど、公民の基礎的・基本的な技能を習得できるよう工夫されています。厳選された教材・資料を通して、世の中の変化や現代の課題を多面的・多角的に考察することができるよう工夫されています。

次に、地図でございます。地図では、2社について、調査研究を行いました。

まず、社会・地図1ページ、東京書籍をご覧ください。州や地方では、地域の外観に役立つ、自然・産業・人口などの主題図を共通して掲載しているので、基礎的・基本的な知識が習得できるよう工夫されています。国土地理院地図、RESAS、Google マップの利用方法を解説する動画や図版の読み取りを練習できるコンテンツ、デジタル地球儀「My Globe」、世界の気候景観など、生徒の興味・関心を引く QR コンテンツが充実しています。地理的分野だけでなく、歴史的分野、公民的分野の関連するページを位置づけ、3年間の社会科学習全体で活用できるよう工夫されています。

社会・地図2ページ、帝国書院をご覧ください。州や地域ごとに、自然環境や生活・文化、産業などのイラストを用いた鳥瞰図があり、地形の様子や特色が視覚的に捉えられ、大観できるように工夫されています。「地図で発見！」では、社会的な見方考え方を働かせるよう作成され、思考力・判断力・表現力の育成につながるよう工夫されています。「NHK for school」、世界州別衛星画像、日本の基礎主題図など、生徒が主体的に学習し、資料活用能力が高められる QR コンテンツが充実しています。歴史アイコンや公民アイコンが設けられ、歴史的分野や公民的分野と関連づけて学習できるよう工夫されています。

説明は以上でございます。

会 長 ありがとうございます。御質問がありましたらお願いします。

副会長 現在、教科書に QR コードがついているものが多いと思うんですが、社会でも QR コードが結構多くついていて、具体的に社会の学習において QR コードの具体的な効果みたいなものはありますか。

調査員代表 はい。各社様々な QR コードのコンテンツを用意してくださっているんです

が、大きく分けて 2 種類かなと思っております。1 つが、教師が授業を組み立て、また、行う時に役立つ、ワークシートであったり、コントロールであったり、そういった指導面で役立つコンテンツが、まず 1 つ。もう 1 点が、生徒が調べ学習をスムーズにできるように、例えばリンク集や、動画資料などにすぐにアクセスできるような、そのような資料的な面と、大きく 2 つがあるかと思いますが、各社どちらもある会社もあれば、片方に力を入れているというような特徴があるかと思いますので、社会的、社会の授業としてはどちらも役立つものなので、どちらが良いというものではないんですけども、そういった授業作りの面、また学習活動の面から役立つもの、というものが具体的効果だと思っています。

会 長 他にいかがでしょうか。はい、お願いします。

委員D 具体的な名前を少し出してしまっても構わないです。会社のちょっと聞きづらいとか答えづらくなる質問なのでどうかなとは思ってるのですが。特に歴史分野なので。構わないですか。

会 長 内容によるかもしれませんが。

委員D わかりました。ちょっとお伺いしたいんですが、歴史の教科書、ちょっといろんなフレアな解釈の仕方というか、いろんな会社があると思うのですが、今、東書じゃないですか。で、教科書的にはすごい見やすいし、わかりやすい教科書だろうと思うのですが、よく話題に、いろんなところでの自由社ですとか育鵬、あと、その令和までいってしまうと、ちょっと教科書としてはかなり使いづらそうな感じにはなるのかな、と思うのですが、例えば、自由社、育鵬などは教科書にしたら、使いづらさってもものはあるのですか。

調査員代表 基本的に各社、様々な構成をされているのですが、社会科として、問題解決学習を、単元を通して、また単位時間を通してやっていくことがとても重要だと、学習指導要領でそのようになっていきますので、そういった単元全体が問題解決学習を前提として、意識して作られているかどうかというのは、各社特色があるかと思うんですけど、そういったことを意識して作られていると、そういった学習にも使いやすいというようなことがあるかと思いますので。今 2 社があげられましたが、そういったところが、私の口からはちょっとそうですね、良い悪いは言えないんですけども、意識されてるかどうかというところは、見るポイントとして、私としては重要視したところではあります。

委員D これ（調査研究報告書）で読みとれる範囲で考えてしまって構わないと。

調査員代表 はい。

委員D ありがとうございます。

会 長	他にありますか。
委員A	教材に、分かりやすい教材、難しい上級者向けの教材、みたいなものがあるかなと思うんですが、そこは中学校の教員としてどういうふうに判断されるのか。それと、あと公民の方で、時代がどんどん変化していく中で、政治的な情勢が変化をする中で、教科書の表記の仕方とか、公平に使われているものなのかどうかということ。審査通ってきたんだから問題はないと思うんですが、その辺はやっぱり会社によって温度差っていうのはあると考えているんでしょうか。
調査員代表	まず、1つ目の資料の難しさというところのものに関しては、授業する教師の側でその資料を使ってどのようなことを捉えさせたいかとか、どのようなことを考えさせたいかによって使い方は様々だと思うんです。たとえ読み取りやすい資料であっても、しっかりと考えさせる発問であったりとか、その授業に即していないと意味がないので、その資料が難しいかどうかというのは、教師の力量にも関わるんですが、そこまで大きな差はないかなと思います。必要であれば他に資料を持ってきて比較することなども可能とは思いますが。もう1点は、政治とか社会情勢の変化、表現の仕方ですけども、それについては、様々な教科書ごとに、例えば書いている分量であったりとか、考え方は確かに色々あるかなと思うんですけども、基本的に事実をしっかりとおさえてあるかなと思いますので、それを基にこう、恣意的な表現を避けて各社が作っているかなと思いますので、今後、社会の変化によって、その、歴史的な事象とか政治的な事象がどのように捉えられるのか、どのような意味をもつのか、ということによって今後変わってくる可能性はありますが、今の段階で、表現としてふさわしくないっていうのは各書ともないのではないかなと思いますので、どの教科書でもその点では使えるのではないかなと思います。
委員A	各社の捉え方は、こう、多少は違う。
調査員代表	力の入れ方が違うのもあるかなと思ひまして、例えば歴史で言えば現代に近い方の分量が多い会社もありますし、それと現代とどう繋げていくかというような考え方をしていることも会社ごとに違うので、考え方、公民においても、内容としては十分しっかりとおさえているけども、その各内容がどれだけ事実を伝えているかとか、そういったことは、その各教科書会社さんが考えて、どこに力を入れて作っているかということで変わってくるかなと思っています。
会 長	他いかがでしょうか。それでは、ありがとうございました。 それでは、「保健・体育」の調査員代表に、調査結果の報告をお願いします。
調査員代表	令和6年度 第五、第六採択地区協議会調査員研究結果（保健体育）の報告をさせていただきます。 保健体育の教科書の研究対象は、全部で4社です。以下、4社毎に、主な項

目について、説明いたします。

1社目が「東京書籍」です。総ページ数は、198ページ、そのうち「体育理論」が32ページ、「保健分野」が124ページです。

はじめに、「内容」ですが、
＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞においては、見開き1ページ1単元の学習を基本としており、ページ上部に課題の解決のためのキーワードが載っております。活用の項目が多く掲載されており、また、本文に入る前に「見つける」といった質問があり、生徒が課題意識を持てる構成となっております。＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞においては、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」といった4つのステップになっており、1時間の流れが分かりやすくなっています。デジタルコンテンツも充実しており、その中に思考力・判断力・表現力だけでなく、先ほどの知識等も習得しやすい工夫がされております。＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞においては、「活用する」の内容が充実しており、対話的な学習ができるような内容の工夫がされています。また、要所要所にクール、コークといったキャラクターの吹き出しがついており、親しみやすく、より深く考えられるような工夫もされております。＜生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫＞においては、それぞれの章の学習内容が、より具体的になった章末資料があり、自身の生活に結び付けやすくなっています。また、口絵や巻末資料には、自分達の生活とのつながりを考えながら学ぶことができる工夫がされております。

次に、資料についてですが、要所要所に「Dマークコンテンツ」があり、「Dマーク」があるところには、動画やワークシート、Webサイトへのリンクなどデジタルコンテンツが用意されています。

最後に、総括として、各章の扉に「この章で学習すること」といった学習の道筋がしっかり示されており、1時間の学習の流れもわかりやすくなっております。マスコットキャラクターも時折でてきて学習のヒントを与えるなど、親しみやすい教科書になっています。以上で「東京書籍」を終わります。

2社目は、「大日本図書」です。総ページ数は、196ページ、そのうち「体育理論」が39ページ、「保健分野」が122ページです。
はじめに、「内容」ですが、＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞ですが、1時間の学習の流れを「課題のねらい」「つかもう」「話し合ってみよう」「活用して深めよう」といった構成になっており、資料を活用しながら学習できるような工夫がされております。重要語句は、太字で強調されており、資料も豊富で、視覚的にイメージしやすくなっています。＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞においては、1時間の流れが分かりやすくなっており、「つかもう」で課題の発見・解決、「活用して深めよう」では、学習したことを生かすなど、様々な活動により、思考力、判断力、表現力等を育成することができる工夫がされております。＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞としては、「つかもう」で身近な題材や生活について取り上げ、主体的に学習に取り組む態度を育成するとともに、生徒の興味・関心を高めるきっかけをつくる活動があります。＜生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工

夫>としては、口絵資料で多くの写真や著名人のインタビューが豊富に掲載されております。トピックスやミニ知識も、各ページに掲載されており、生涯にわたって健康の保持増進、豊かなスポーツライフの実現につなげるような工夫がされています。

次に、表記・表現としては、基本的に左側に文章、右側に資料という構成になっており、資料を活用しながら、学習していくという流れになっています。イラストや資料が豊富で、特に写真は今の時代の人が多く使用されております。全ページ、脚注にミニ知識があり、知識とつなげやすくなっております。

総括として、左側が文章、右側が資料等という形式で見やすいが、分野によっては、少し資料の割合が多く、余白が少ない分、詰め込まれているという印象を受けるように感じます。

以上で「大日本図書」を終わります。

3社目は、「大修館」です。総ページ数は、206ページ、そのうち「体育理論」が40ページ、「保健分野」が140ページです。

はじめに、「内容」ですが、

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>ですが、見開き1ページを1単位時間とし、「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の3つのステップで構成されています。特に、ページ上部に「課題をつかむ」発問が載っており、授業での導入がしやすく、また、同じく上部に課題解決のためのキーワードが載っており、知識として習得しやすい工夫がされています。<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>としては、各単元において、文章とイラスト、グラフがバランスよくレイアウトされています。要所要所で、課題をつかむために、生徒の興味関心がわきそうな「問」、学習のまとめにおいて、話し合いが活性化しそうな具体的な「問」が示されています。また、各章の最後に章末問題があり、その問題も明確に3観点に分かれていて、評価しやすくなっております。<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>においては、冒頭に「保健体育の学び方」「デジタル教材の使い方」が掲載されていることで、生徒が教科書をより効果的に活用して学習に取り組めるような工夫がされています。「課題をつかむ」から「学習のまとめ」という構成の中に、写真やイラストが効果的に掲載されていることで、主体的に学習に取り組むことができる工夫がされています。本時の学習課題が疑問形で示されているために、学習の見通しが持ちやすくなっています。

<生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫>においては、例えば、「交通事故の実態と原因」では、事例として、現代的な、「ながらスマホ」などを取り上げており、生徒達が現実味をもちやすい工夫がされています。各ページの下部には、「ほり下げる」という項目があり、関連事項が示されています。

次に、資料ですが、「小学校で学習したこと」「高校で学習すること」の記載があり、小・中・高のつながりが示されています。また、SDGsや共生社会など、現代的な課題や資料も積極的に取り入れております。

最後に、総括として、全体的に図や資料が豊富で、バランスよくレイアウトされており、とても見やすくなっています。各単元で、課題と学習の流れがわかりやすく示されており、学習がしやすい工夫がされています。

以上で「大修館」を終わります。

最後、4社目は、「学研」です。総ページ数は、206ページ、そのうち「体育理論」が38ページ、「保健分野」が132ページです。

はじめに、「内容」です。＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞ですが、本単元に入る前に「ウォームアップ（課題の発見）」という発問があり、本単元に入りやすい導入の工夫がされており、中盤においても「エクササイズ」といった話合いが活性化する活動があります。活用の項目も多く掲載されており、知識だけでなく自分達の生活と関連させる工夫がされております。＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞としては、各単元において、文章とイラスト、グラフなどがバランスよく配置されており、学習がしやすく、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫がされています。導入、中盤、まとめの段階、それぞれで生徒の思考力、判断力、表現力を育成するような「問」が工夫されております。＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞としては、「学びを生かす」といった学びを活用する項目があり、対話的な学習ができる工夫がされています。全体的に、課題を発見し、解決に向け思考判断し、他者に伝えるという学習の流れで構成されており、主体的に学習に取り組める工夫がされています。＜生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫＞としては、各章の最後に「探求しよう」という項目があり、それぞれ自分達の身近な話題を取り上げながら探求できる工夫がされており、保健体育の学習と自分達の生活との関連が感じられるような工夫がされています。各ページの左下に「JOB」欄があり、学習内容と直結するような職業が示されています。

次に、資料としては、全体的に学習の課題に関連した身近な話題が多く取り上げられております。各単元に「情報サブリ」といった豆知識のような内容があり、生徒が興味がわきやすくなるような工夫がされています。

最後に、総括として、文章量が多すぎず、少なすぎず適量であり、他者に比べ文字体あえて変えており、読みやすくなっています。デジタルコンテンツも充実しており、動画も豊富であります。

以上で、「保健体育」の教科書4社の研究結果の報告を終わります。

会長 ありがとうございます。御質問等がありましたら、お願いします。

副会長 保健体育の場合は、授業でも保健の時間ってあまりないと思うんですが、教科書によってかなり細かい情報があって、例えば先ほどおっしゃっていたような「ながらスマホ」のことであつたりとか、「野外スポーツへの危険と対策」の部分に離岸流についての説明があつたりですとか、かなり細かいことが書かれていたりするんですね。これらは、例えば授業でやらなかったとしても生徒が主体的に学んで役に立つというようなことでよろしいのでしょうか。

調査員代表 そうですね。保健の分野については限られていますので、履修する項目がある程度限定されている状態ですが、やはり、特に先生方の技量にもよりますけれども、自分たちの身近なものと結びつけるっていう活動をメインにして、やっぱりもうちょっと掘り下げたい、もうちょっと調べてみたいっていう場合には、こういう項目があるから読んでみて、とか、または、例えばデジタルコンテンツでもう1回振り返って、やっぱり興味関心がある子については、より深

	く学べるような、そういった教科書の価値ですね、力になってるかなと思います。
会 長	他にいかがですか。
委員A	保健の部分で、子供たちが飲酒とか喫煙とか大麻とかね、そういうのが心配なんですけど、その辺の、教育の中で占める割合ってすごい少ないかなと思います。で、各社ありますけれども、その内容を1つにまとめちゃったりとか、それ1つ1つがやっぱ子供たちのこのこれからの将来に大切な知識になっていくと思いますので、その辺りはどういう風に考えられるのか。それと、防犯対策も入っているんですよね、この防犯対策も時間的にはわずかな時間なのかなと思うんですが、万が一そういう起きた場合に、けがになった場合に対処する方法とかそういうもの、この教材以外にやっぱり子供たち伝えていかないと、これからも危険があるのかなっていう風に感じるんですが、そこら辺はどうでしょう。
調査員代表	そうですね、特に保健分野ですから、確かに生徒にとっては、やっぱり飲酒、喫煙とか、またはその先の薬物乱用とか、そういったことについてはまずしっかりと、やっぱりどういう影響があるのか、なぜいけないのか、そういったところをやっぱり強調して教えていくというのが大事なのかなと。その上で、やっぱり教科書によっては、例えばそういったことに出会ってしまった、薬物であつたら、そういった出会った場面になってしまったら、やっぱどうやって断っていくとか、どういう形でそういうのを自分から話していくのかっていうところも書かれてるのがありますが、あまりそこばかりになってしまうと、どちらかというと生徒指導とかそういった分野になってしまうと。もちろんそういうことも含めて各先生方指導しますけども、やっぱりどちらかというと、なぜいけないのか、そういう影響が、特に若いうちに、こういうことをするとどういう風な影響を及ぼすのかっていうところをメインにやりながら、そしてさっき言った防犯というものを最後に付け加えながら、あまりそちらがメインにならないようにならないように工夫はしていくと思います。
会 長	はい、他いかがですか。よろしいですか。では、ありがとうございました。それでは、「理科」の調査員代表に、調査結果の報告をお願いします。
調査員代表	それでは、理科における調査結果を報告いたします。 はじめに、発行者番号2、「東京書籍」です。 「内容」の欄、＜科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫＞の項目にあるとおり、各ページの下部に、「問題発見→仮説→実験→分析解釈」といったアイコンが、各ページに付されており、理科における探究の過程を常に意識しながら学べるような工夫が見られます。 また、単元のはじめにある、見開きの大きな写真だけでなく、理科にまつわる現象の面白さや、自然の不思議さを実感できるような、印象的な写真が多く掲載されています。 「資料」の欄にあるとおり、QRコードから入ることができるコンテンツ

が、豊富に設けられています。例えば、「観察・実験器具の説明」や「シミュレーション」、「演示実験」、「観察・実験の手順を説明する動画」、「インタビュー動画」などがあります。

また、2年生の巻末には、温帯低気圧の構造を視覚的に理解できるよう、ペーパークラフトが付されていることも、特徴の1つです。「表記・表現」の欄にあるとおり、発展的な内容については、中3で学ぶのか、高校に行ってから学ぶのかなどが分かるよう、「発展」マークとともに学ぶ時期が示されており、見通しを持って学べるような工夫が見られます。

1学年から3学年まで、3冊分を合計した全体の質量は、1, 696 gとなっています。

続いて、発行者番号4、「大日本図書」です。

「内容」の欄、〈思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫〉の項目にあるとおり、レポートの書き方について、1学年の巻末に資料が掲載されています。1・3学年については、学習内容に応じた具体的な例が記載されており、表現力を高めるための工夫がみられます。

また、〈科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫〉の項目にあるとおり、1学年の巻末に、見開き6ページ分を使って丁寧に、探究の過程について説明されています。2・3学年については、巻頭の見開き2ページで説明されており、理科における探究の過程を意識しながら学べるような工夫が見られます。

また、「資料」の欄にあるとおり、QRコードから入れるコンテンツが、豊富に設けられています。例えば、「観察・実験器具の説明」や「演示実験」、「観察・実験の手順を説明する動画」などがあります。さらに、「表記・表現」の欄にあるとおり、多くの記号が用いられていることも特徴です。各記号は、様々な色使いやデザインで、細分化されています。

2・3学年のフォントは小さめですが、1学年はそれよりもやや大きいものが使われています。

デジタル教科書については、「総括」の欄にあるとおり、回線が細い環境、つまり、低速度の回線しか整っていない環境下でも対応できるようになっています。

3冊分を合計した全体の質量は、1, 757 gとなっています。

続いて、発行者番号11、「学校図書」です。

「内容」欄、〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉の項目にあるとおり、各学年の巻頭に、漫画形式で理科を学ぶ意義について解説されており、子供たちにとって親しみやすく、つい読みたくなるような仕掛けで、本質を理解させるような工夫がみられます。

「資料」の欄にあるとおり、QRコードが全てのページに付されているのが、特徴の1つです。コードを読み込むことで、1年生であっても3年生の教科書を見られるなど、全学年の教科書を閲覧できるようになっています。学習内容に関連するコンテンツに直接飛ぶのではなく、全体の中から探して、選択するような立て付けになっています。

また、生徒の手書きによる回答にも対応していたり、自動採点の仕組みが備わっていたり、「チャットボット」と呼ばれるAIによる窓口に質問できたりするなど、新しい試みがみられます。

科学コラムや、日常生活との関連を意識できる資料などは、関連するページに点在しているのではなく、例えば1年生では199ページ以降のように、巻末の「補充資料」に、資料集的にすべてまとめられているという特徴があります。その分、「補充資料」のページが厚みのあるものとなっています。

3冊分を合計した全体の質量は、1,977gとなっています。

続いて、発行者番号17、「教育出版」です。

「内容」の欄、＜科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫＞の項目にあるとおり、例えば、2年生の8ページと29ページのように、章のはじめには「学習前の私」、章末には「学習後の私」の記載欄があり、探究的な学びが充実するような工夫がみられます。

「資料」の欄にあるとおり、QRコードから入ることができるコンテンツが、豊富に設けられています。例えば、「観察・実験器具の説明」や、「演示実験」、「観察・実験の手順を説明する動画」、図鑑などがあります。具体的にどのような内容のコンテンツなのかを掴むには、一度ページを開いてみる必要があります。

「表記・表現」の欄にあるとおり、発展的な内容については、「高校 物理基礎」など学ぶ時期や教科名が示されており、見通しを持って学べるような工夫が見られます。

また、学年によってフォントのサイズが異なっている点も特徴です。1学年のフォントサイズは大きく、2・3学年はそれよりも小さいものが使われています。また、1学年の記述は、導入部分が丁寧に書かれており、器具の使い方なども詳しく示されているところにも特徴がみられます。

3冊分を合計した全体の質量は、2,000gとなっています。

最後に、発行者番号61、「新興出版社 啓林館」です。

「内容」欄の〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉の項目にあるとおり、例えば「部活ラボ」「お料理ラボ」「お仕事ラボ」「防災・減災ラボ」など、科学コラムがジャンルごとに細分化されて、充実しています。

また、＜科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫＞の項目にあるとおり、例えば、1年生では260ページ、巻末の資料の中に、「ベン図」や「コンセプトマップ」といった「思考ツール」の紹介や、「ブレインストーミング」や「ジグソー法」など、思考を深めるための例、発表用のスライドをつくる際のテンプレートなど、探究的な学びを支援するページが設けられています。

また、「資料」の欄にあるとおり、QRコードから入ることができるコンテンツには、例えば、「観察・実験器具の説明」や、「動かせるコンテンツ」、「演習問題」などがあります。

「表記・表現」の欄にあるとおり、学年によってフォントのサイズが異なっている点も特徴です。1学年のフォントサイズは大きく、2・3学年はそれよりも小さいものが使われています。表記の仕方については、学年間で特に差異はみられません。

3冊分を合計した全体の質量は、1,914gとなっています。

以上でございます。

会長 はい、ありがとうございました。質問はございますでしょうか。

委員C	理科の教科に関しては、学ぶ順序が教科書によって違ってくると思うんですけども、限られた先生の数と、実験の時は数少ない理科室を使うということで、授業のやりやすさみたいなのところに違いはあるのかお聞きしたいです。
調査員代表	ご質問いただいた点ですが、確かに単元の配列が発行者によって違っていました。その点も研究してみたんですが、一概にどこが優れてるとか、どこが支障があるっていったことは見られませんでした。理科室が2つしかない学校が多いんですけど、いずれにしても、重なってしまうところがあるので、そこは教員間でうまく調整していくのが実情だね、という話になりました。
会 長	他にいかがでしょうか。はい、お願いいたします。
副会長	先ほどから教科書のグラム数のことおっしゃっていただきましたが、お聞きしたところ、多いところと少ないところが300グラムくらい違いましたが、このことによって、教科書の内容の充実度が変わるとか、そういったことはないのででしょうか。
調査員代表	はい。ご質問いただきました点については、一方では子供たちの実態として、背負っている鞆が非常に重いということで、そういった視点でも見てみたんですが、その一方で、内容が豊富に示されているということで、全てを使うってことではないと思うんですが、使いたい中身、使いたいツールを授業の中で使えるというメリットとデメリットの両方があるのかなという風に考えました。
会 長	他にいかがですか。よろしいですか。ありがとうございました。 ここで、休憩とします。10時50分に再開ということでお願いします。 (暫時休憩)
会 長	それでは、再開いたします。 「外国語」の調査員代表に、調査結果の報告をお願いします。
調査員代表	令和6年度 第五、第六地区調査 英語 についてご説明いたします。 教科書会社登録順で全体的な特徴並びに学習用デジタル教科書の特長についてご説明します。 英語―1をご覧ください。東京書籍でございます。 言語材料の知識と技能を基に、生徒が自分で思考し、判断したことを適切に表現することを深い学びととらえ、コミュニケーション能力を育成する点に段階的な活動が用意されております。また目的・場面・状況に応じて英語で意志や情報を伝え合う活動など、対話的な学習を促す工夫が随所にあります。 学習用デジタル教科書に関しては1, 205項目、3, 298ファイルの豊富なデジタルコンテンツによって生徒の個別最適かつ協働的な学びの実現を支

援しております。紙面を拡大する機能や映像・音声の再生機能が充実しております。

英語―2をご覧ください。開隆堂出版でございます。

学習指導要領の趣旨を踏まえ5領域について総合的な指導ができるよう工夫・配慮がなされております。各単元の冒頭にマンガで導入する等、目的・場面・状況を明確に与えることによって、視覚的に新出表現を理解できる工夫がなされております。

学習者用デジタル教科書においてはルビ表示、文字や背景色の変更、本文の読み上げ機能などを備えております。画面上のアイコンをタップすることで音声や動画の視聴が容易に行えるようになっております。

英語―3をご覧ください。三省堂でございます。

各単元に配置された言語活動を通して、目的や場面、状況などに応じて、思考力・判断力・表現力を働かせながら深い学びを実現するよう工夫されています。またペアやグループ活動を充実させることで、コミュニケーションの際に相手を意識する力を育むことができるような工夫もございます。

学習用デジタル教科書には家庭学習モードが搭載されている。学習者のレベルに合った練習が進められるようになっております。学習履歴を残すことができ、自身の学習状況を逐次確認できるようになっております。

英語―4をご覧ください。教育出版でございます。

コミュニケーション能力の育成を目指して、5領域に係る内容がバランスよく選択配列されております。英語で意志や情報を伝え合う対話的な活動や協働して問題解決にあたる活動を盛り込み、主体的・対話的で深い学びの実現に資する内容となっております。

学習用デジタル教科書においては学習者が発音した英語を文字として表示する機能があり、苦手な発音や抜け落ちやすい語句を視覚的に確認できる点が優れております。

英語―5をご覧ください。光村図書でございます。

本文で学習すべき言語材料がわかりやすく提示されているとともに5領域のバランスや活動の一貫性が担保されております。またコミュニケーションの目的・場面・状況を明示し、これまでに理解したことを表現につながる言語活動が取り入れられてございます。

学習用デジタル教科書では紙面上の技能統合型の活動の内容との親和性が高く、生徒のスピーキング力を測るコンテンツが豊富に収録されております。

英語―6をご覧ください。啓林館でございます。

題材内容を通じて、外国語やその背景にある文化に対する理解が深まるよう工夫・配慮がなされております。また各単元の言語活動を充実させて、コミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じた、思考・判断・表現する力を指導できるよう工夫されております。

学習用デジタル教科書には再生速度を変更できる機能や生徒の書き込みをそのまま保存できる機能などが付いております。

私からの説明は以上でございます。

会長 ありがとうございました。それでは、御質問お願いします。よろしいですか。

私から1点。説明の中で、技能統合型の活動との親和性が高いという説明が
ありましたが、どういうことでしょうか。

調査員代表

はい。これは、5ページの教科書にあたります、光村図書の教科書でござい
ます。紙面上にですね、その、読む、聞く、話す、というところ、外国語は2
つに今回から分かれています、書くも含めて大きく普通は4領域という
んですけれども、その2つの領域が、例えば聞いたものをもとにして書く、で
あるとか、聞いたものをもとにして話すであるとか、そういう2つの領域がデ
ジタルの力を借りることによってよりやりやすくなっていると、そういう機能
ですね。そこが特に目立っているということです。

会 長

ありがとうございます。他ご質問ございますか。よろしいですか。はい、で
はありがとうございました。

次に、「家庭科」の調査員代表に、調査結果の報告をお願いします。

調査員代表

よろしくお願いいたします。

ではまず1ページ目「東京書籍株式会社」です。

学習の流れが分かりやすく見通しを持った学習ができ、学習のまとめやQRコ
ンテンツは知識や技能の定着が期待できます。授業を多様に展開でき、生徒の
主体的な学習が期待できると考えられます。ワークシートや評価につながるま
とめなど、教師側のサポートも充実しています。

内容の1つ目の項目にあるように、QRコンテンツが豊富で、資料やシミュレ
ーション、ワークシートに必要な知識や技能を確認できます。苦手意識のある
生徒も積極的に学びに取り組みやすい工夫がされています。

2つ目の項目をご覧ください。

ガイダンスで問題を解決する道筋が示されています。思考ツールもいくつか
パターンが示されており、考えかたを整理する時に有効活用できます。「考え
てみよう」「やってみよう」「調べてみよう」など具体的な活動の姿が充実し
ていて、生徒が主体的な活動をするように促しています。

3つ目の項目をご覧ください。

自分の生活チェックで初期の自分の思考が記録してあるので、学び後の成長
を感じやすいです。また、サステナブルクッキング実習例等の持続可能な考え
方に結びつけやすい工夫がされています。

4つ目の項目をご覧ください。

調理の作業毎にポイントを掲載してあります。作手順の写真が多く丁寧で
す。また、食物アレルギーの原因と症状、つきあい方について留意を促してい
ます。東京書籍のみ、学びの順番がB→C→Aとなっており、独自のこだわりで
製作されています。

2ページ目、「教育図書株式会社」です。

導入からまとめまでの流れが見やすく、見通しをもった学習が期待できま
す。図や資料の並べ方が、すっきりしていて見やすいです。QRコンテンツが豊
富で、生徒が興味を持って取り組めることが期待できます。

内容の1つ目の項目をご覧ください。

QRコンテンツにおいて、献立作成できる計算ソフトやOXクイズは復習や予

習も活用できます。手縫いや包丁の使い方もわかりやすく説明しあります。また、学習の振り返りページが確保され、習得すべきポイント振り返りしやすいです。

2つ目の項目をご覧ください。

生活の課題について客観視できるデータ、資料、写真やイラストが提示されており根拠に基づいた学びができます。日常におこりうる生活場面の例と結び付け、今までの自分の捉え方を考え直す機会を与え、生活の見方や考え方を広げた問題解決的な学習ができるようになっています。

3つ目の項目をご覧ください。

キャリア教育の視点からも家庭科での学びが将来どのように生かされていくのかが想像しやすいです。消費者としての観点、防災の観点など様々な見方考え方ができる工夫があります。

4つ目の項目をご覧ください。

様々な作業手順が分りやすいように工夫されています。調理の作業手順は縦に配置しており、材料を先頭に準備から完成までをイメージしやすくなっています。また、3つの評価の観点毎に問題を作成し、評価がしやすいです。どの単元も導入で自分の生活を見つめ、問題の発見をさせ、生活をよりよくしていこうという流れで学習が進んでいます。今日的な話題にもつなげており、生活と社会のつながりを意識できる構成になっています。

3ページ目、「開隆堂出版株式会社」です。

ガイダンスのページに目を通すだけで学習意欲が沸きます。生徒と教師が授業の展開について共通の認識が持てます。家庭科の目指す自立と共生を分かりやすく示し、各ABCの内容は、生徒が自分の生活と結びつけ自分ごととし、科学的に学び、社会とのつながりの中で捉える構成となっています。

内容の1つ目の項目をご覧ください。

手縫いや包丁の使い方の写真が大きく、見やすいです。QRコンテンツも、授業内に限らず、家庭でも確認でき、技能習得のサポートとなります。

2つ目の項目をご覧ください。

「考えてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」では、具体的な生活場面と結びつけ、学んだ知識・技能を生かし、問題解決的な学習を促しています。地域、社会の構成員の一員として、偏見をなくす視点が配慮されており、誰一人とり残すことなく学びが広がり、理解が深まると考えられます。

3つ目の項目をご覧ください。

主体的・対話的・深い学びの考え方、生活の見方・考え方の視点など生徒が考えるための道筋をわかりやすく提示しています。(P6)

失敗例の提示があり、そこから生徒に考えさせ、答えを導き出す構成になっています。

4つ目の項目をご覧ください。

作業手順が横流れに示してあり、ポイントを明記し、簡潔でわかりやすいです。小学校での既習内容と関連付けられるような「小学校コーナー」、調理に必要な「安全」「衛生」のコーナーがあり、どの調理実習でも意識して学習が進められます。

以上でございます。

会 長	ありがとうございました。それでは、ご質問ありましたらお願いします。
副会長	家庭科の授業の中で実習というところで布を用いた作品があるんですが、教科書にはたくさん例が挙がっているんですが、実際に作成するときにはどのように選択しているのでしょうか。
調査員代表	たくさんの例がここに挙がっているので、その先生のやり方にもよるんですけども、その子が自分の生活をイメージして、すると、じゃあこれが作りた いな、こんなこともやってみたいなということで、たいていの先生方はこの 中から自由に選んでごらん、またはもうちょっと調べて、ちょっと工夫したら これができるかなというようなものもやらせてみたりしているというようなお 話を聞いております。
副会長	あと調理実習についても、各社いろいろ工夫はされていると思うんですが、 中には材料とか調理時間とか手順とか、わかりやすく記載されたものがある と思うんですが、やはりそういったものがあるほうが調理実習はやりやすい のでしょうか。
調査員代表	やはり普段やっているお子さんとやっていないお子さんがいるので、この差 はあるのかなと思うんですけども、やはりやっていないお子さんにとっ てもやってみようかなって思ってもらえるように、というふうに考えると、横に 書いてらっしゃる会社もあれば、縦に書いてある会社もあるんですけども、 ちょっと横において見ながらできるというような形になっているもの、それぞ れに工夫をしてやってくださっているんですけど、それは大変貴重でありがた いと感じます。
会 長	よろしいでしょうか。それでは、ありがとうございました。 それでは、「道徳」の調査員代表に、調査結果の報告をお願いします。
調査員代表	それでは、特別の教科道徳の調査結果のご報告をさせていただきます。 初めに、7つの発行者がございましたが、7つの発行者の教科書ともに、生徒 の主体性を引き出し、多面的、多角的に考えながら、対話を通して人間として の生き方についての考えを深められるような構成となっており、授業の質を高 めることができる教科書ばかりであるというのが調査員会の総意であったこと をまずご報告をさせていただいて、個々の教科書の報告に移らせていただきま す。 では、まず発行者番号2 東京書籍でございます。1ページをご覧ください。 こちらは、写真や写真図等を多く配置し、多様な教材で多面的、多角的に 考えを深められるよう工夫がされています。また、考えを深めたり広げたりす ることができるように、教材と関連したコラムが配置されています。さらに、 内容欄の1つ目、学習指導要領の教科の目標に関わる工夫のところにあります 通り、教材末尾には、「考えよう」、「見つめよう」の発話の後に、「考えを ぐっと深める」を設けており、人間としての生き方について、教材での学びか らさらに深く考えられるよう工夫がされています。

次に、発行者番号 17 教育出版です。2 ページをご覧ください。

こちらは、教材末尾の「学びの道しるべ」を活用して、段階的に道徳的価値の意義について理解し、主体的に学びを進められるように構成をされています。また、教材内容が理解しやすい多様な教材が設定され、自分事として考えを深め、これからの生き方について考えを深められるように工夫されています。特に 内容欄の 3 つ目、発達の段階に即しつつ深く考えることができ、狙いを達成する工夫、にあります通り、SNS の例や現代的な会話文を取り上げるなど、発達の段階に応じた取り組みやすさを重視した教材が掲載され、深い学びを促す工夫がされています。続いて、発行者番号 38、光村図書出版です。3 ページをご覧ください。こちらは、巻頭の「道徳の学習を始めよう」と、巻末の「学びの記憶」を活用し、1 年間、学びの見通しと振り返りができるように工夫されています。また、複数の教材がテーマを持ったユニットとして解決され、テーマに向かって関連する内容項目をまとめて考えられるように構成されて、例えば、内容欄の 2 つ目、現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫にあります通り、いじめ問題については、身近な問題を取り上げた教材を掲載し、ユニット学習を設定することで、生徒自身がじっくりと考えられるようにされています。

続いて、発行者番号 116、日本文教出版です。4 ページをご覧ください。

こちらは、別冊の道徳ノートに、発言や話し合いの内容を自由に記入することができ、協働的な学びや自身の成長を振り返ることができるよう工夫されています。また、全ての教材に二次元コードがあり、補助教材だけでなく、心情メーターや思考ツールを活用し、心情や思考を可視化できるようになっています。さらに、資料欄にございます通り、教材に関連したコラムが掲載され、学習内容を自主的に広めて、他教科やこれからの生活でも活用できたりするように工夫されています。

続いて発行者番号 222、学研です。5 ページをご覧ください。こちらは、イメージを広げる挿し絵や写真、図等を効果的に配置し、多様な教材で話し合いながら、多面的、多角的に考えを深められるように工夫されています。また、多様性を大きなテーマとし、複数の教材と関連して考えを深め、日常生活につなげていけるようになっています。さらに、内容欄の 1 つ目、学習指導要領の教科の目標に関わる工夫にあります通り、巻末に「学びの記憶」を設け、自己を見つめ、今後の生き方について見つめ直すことができるように工夫がされています。

続いて発行者番号 232、あかつき教育図書です。6 ページをご覧ください。

こちらは、現代的な課題に向き合えるよう、発達の段階に応じて教材をユニット化して配置し、学びを広げ、深められるように工夫をされています。また、いじめ問題や共生社会など重要なテーマにおいて、問題解決的な学習や体験的な学習が取り入れられるようになっています。具体的には、内容欄の 4 つ目、考え、議論する道徳を通して道徳性を育成する工夫、にございます通り、各学年でマイプラスを設定し、役割演技や話し合いを取り入れて、様々な立場で考えを深められるように工夫をされています。

最後に、発行者番号 233、日本教科書。7 ページをご覧ください。

こちらは、学習指導要領の内容項目順に教材が配置され、各学校の実態に応じた年間指導計画が立てやすいよう工夫をされています。また、挿し絵や写真

等を効果的に配置し、多様性や多面性を意識した教材が多く盛り込まれています。さらに、内容欄の4つ目、考え、議論する道徳を通して道徳性を育成する工夫にございます通り、端末に付属しているウェルビーイングカードを活用することで、意見を交流したり、考えを深めたりすることができるよう工夫をさげます。以上で、特別の教科道徳の調査結果の報告を終わりにします。どうぞよろしくお願いいたします。

会 長 ありがとうございました。それでは質問ありましたらお願いします。

副会長 道徳の教科書の県の報告書を見ますと、題材数というのが、かなり多いものと少ないものの差があるみたいですが、この違いについて、どちらが良いとは言えないものだと思いますが、この辺ちょっと教えていただけますか。

調査員代表 はい。題材数自体は年間35時間でございますので、35本あればそのまま1年間の授業が行うことができるっていうところが基本なんですけど、道徳科の特徴としまして、いわゆる郷土に関するような教材であったり、あるいは自身の身近な教材というものにその教材を差し替えて授業を行うということも効果的であり、学習指導要領上も、そのような身近な教材あるいは郷土に関する教材を進んで活用するように、というような趣旨のお話もございます。そういう意味で、教材を多く教科書会社、発行社さんをご用意をいただくことで、そこから選ぶという選択肢がある、という意味では、題材が多いっていうところはメリットになるかなと思うんですが、一方で、やはり身近な教材ということになると、あまり多く教材があっても、やはり身近な教材をその中から選ぶとなると、授業としては活用できないような内容も、中には入ってくるということになるので、一長一短と言いますか、活用する、あるいは生徒の実態に応じて教師がそこを選択するという部分ですので、題材の多さ少なさという部分のところが採択の決定打になるかということ、必ずしもそうではないかなという風には捉えています。

会 長 他いかがでしょうか。

副会長 今、道徳の授業ですとICT化が進んでいて、特に道徳っていろんな考えの友達がいるので、有効にタブレットとか使っていると思うのですが、それについては何の教科書っていうのも同じように使っていけるような教科書になっていますか。

調査員代表 はい。今回の教科書に関しては、どの発行社さんともに2次元コードですとか、あるいは付録等を使いながら、いわゆるそのICTを活用している中で授業を進めていたり、あるいは、いわゆるこれまでノートとして書いていたものを全てICT上で、タブレット上で蓄積をして、後から振り返るようにすることができるといったような付加価値というものをそれぞれの発行者さんが工夫をして設けてくださっていますので、道徳に関しましてはどの発行者さんを使ってもICTとの親和性という部分は高いのかなというのが印象でございました。

会 長	他いかがでしょうか。よろしいですか。ありがとうございました。 それでは、「技術」の調査員代表に、調査結果の報告をお願いします。
調査員代表	技術・家庭科教科書、技術分野の調査結果について報告します。教科書の発行社は全部で3社です。順に説明します。 はじめに、1ページ、東京書籍の教科書について申し上げます。 学習内容ごとに、「目標」「学習課題」から「まとめよう」までが、ひとまとまりとして構成されています。指導内容の最後に「学習したことを確かめよう」「考えを深めよう」「生活に生かそう」を「学習のまとめ」として示していることで知識・技能の定着を確認することができます。安全な作業に関わる内容が、基礎技能習得のためのテックラボに作業場面に関連付けて示されています。豊富な資料や問題解決例、他教科との関連により、指導計画や実態に合わせて学習を深めたり広げたりできるようになっています。 各内容では、知識・技能で1つ目の○から3行目にあります、「基礎基本の技能定着を図るため「TECH Lab」としてまとめ、取り組む課題に応じて習得した技能を適切に選択できる工夫が特徴です。思考・判断・表現では2つ目の○にあります、技術の見方・考え方（最適化の窓）として、社会での問題解決を行う多面的な視点を提示しています。技術と生活や社会、環境との関わりでは3つ目の○から2行目にあります、生活している場面から問題発見する際に、どのように状況を整理すればよいかまとまっているので、課題設定のタイミングで活用しやすさがあります。実践的な態度では4つ目の○にあります、「課題解決例と実社会について関連性を持たせている」ことが特徴です。他教科等で学んだことのつながりを明示しているため、教科横断的な学習の定着に配慮しています。 次に、教育図書について申し上げます。 学習内容ごとに、日常生活との関わりや社会とのつながりを重視した課題を提示し問題解決に取り組むことができるようにしています。各内容の最後に「知識・技能」や「思考・判断・表現」、「やってみよう」「振り返る」で「主体的に学習に取り組む態度」を「まとめ」として示しています。見開きで安全作業の心得を記すとともに各内容で安全な作業に関わる事項が、作業場面に関連付けて示されています。丁寧な作業手順を細かく分けて説明しており、本文の理解を助けるために必要な写真が大きく、生徒が作業の全体像をつかみやすいように作られています。 各内容では知識・技能で1つ目の○から3行目末、別冊「スキルアシスト」は基礎技能の習得に特化し、実習・製作で参照しやすくなっています。思考・判断・表現では2つ目の○から2行目末の、各内容とも問題解決例が身近な事例であり、問題解決で製作したものなどが、どのように生活に役立つイメージしやすいです。技術と生活や社会、環境との関わりでは3つ目の○から3行目、社会の環境問題を取り上げ、環境保全に寄与する態度を養うことに配慮し、関連には環境マークを付け、関心を高める工夫があります。実践的な態度では4つ目の○にあります、各内容の最後に「技術のプラス面とマイナス面」について振り返る場面を掲載し、これからの技術の上手な活用方法、求められる技術についてまとめています。各編の章の構成が統一され、また、授業ごとの振り返りや各内容のまとめも3観点に沿って作られています。

最後に、開隆堂について申し上げます。

学習課題と対になる「CHECK(到達度の自己評価)」により、目標と評価の一体化を図ることで「個別最適な学び」につながっています。指導内容の最後に「学習をふり返ろう」「技術のしくみ、工夫」「学びを深めよう」「探究」などを「学習のまとめ」として示しているので知識・技能の定着を確認することができます。ガイダンスに続き全体的な取扱いに関する安全指導と、各作業場面に関連付いた安全な作業に関わる内容が示されている。各内容ともバランスよく資料を配置しており、見開きによる見やすい構成と、ページごとに考えが深められるよう「参考」が設けられ、主体的な学びへとつながっています。

各内容では知識・技能で1つ目の○にあります、「学習の目標・課題」から「CHECK」の順で構成され、授業の流れがつかみやすく、知識や技能を確実に習得できる工夫があります。思考・判断・表現では2つ目の○にあります、「問題の発見と解決の流れ」において、社会とのつながりを考えた問題の発見・課題、解決・改善の例が具体化されています。技術と生活や社会、環境との関わりでは3つ目の○から2行目に多岐にわたる社会で活用されている技術の事例、今後活用されるであろう事例が多く掲載されているのが特徴です。実践的な態度では4つ目の○から2行目に、新たな技術の「可能性」と「課題」について資料が明確に示されています。実習例では製作することだけでなく、製作の目的に重きが置かれ、実習の流れが明確になっています。技術を用いた問題解決の流れと解決する力を高めるための工夫がされています。

以上をもちまして、報告といたします。

会 長 それではご質問お願いいたします。
 では、私からいいですか。

技術分野ですと、教科横断的な内容もかなり多く示されていると思うのですが、そのあたりの記述にはどのような工夫がされているのでしょうか。

調査員代表 はい。関連するマークが各社ともいろいろ工夫されて配置されており、この部分がどこに関連しているという印として示されております。

会 長 他に質問ございますか。

委員C 技術分野に関して、新しい先生も入ってくることもあるかと思うのですが、先生による経験の差についてはどのように工夫されているのでしょうか。

調査員代表 その本人の技量にもよりますが、1つは、教科書で教えていくわけですので、教科書の例えば作業の流れとかが示してあると初任者にとって非常に使いやすいと思います。

会 長 他いかがでしょうか。よろしいですか。では、ありがとうございました。
 それでは、「美術」の調査員代表に、調査結果の報告をお願いします。

よろしくお願ひいたします。まず1 ページ目「開隆堂出版」です。

題材、資料とも幅広く、偏ることなく扱っており、前衛的な表現も取り入れています。レイアウトも整理され、とても見やすく編集されています。

「美術1」と「美術2・3」の2冊の構成で、「表現」「鑑賞」「学びの資料」とわかりやすく色分けされています。

内容の1つ目の項目にあるように、題材ごとに評価規準に対応した目標が示されており、題材也多岐にわたっております。また、知識、技能に関する資料が巻末にまとめられています。

2つ目の項目をご覧ください。

発想や構想の着眼点や、参考となる方法が示されています。巨匠やアーティストの作品を導入で用いて興味関心を高め、キャラクターのつぶやきを使って思考を深める工夫が見られます。

3つ目の項目をご覧ください。

学びに向かう力を高めるため、題材の狙いを明確化し、主体的に主題をとらえる姿勢を促しています。

4つ目の項目をご覧ください。

2次元コードでワークシートを読み込むことができます。

作品の写真を大きく扱い、創作のイメージを広げるための問いかけや生徒作品に作者のことばを添えるなどの工夫が見られます。

全体的に生徒の発想を素直に引き出そうする思いが感じられます。

2 ページ目、「光村図書出版」です。

生徒がやってみたいと思う題材の示し方、実際に取り組めるような資料が豊富で知識、技能を具体的に示しています。「美術1」と「美術2・3」の2冊に加え、別冊資料があります。

内容の1つ目の項目をご覧ください。

題材ごとに評価規準に対応した目標が示されており、題材也多岐にわたっております。また、知識、技能に関する資料は別冊となっております。

2つ目の項目をご覧ください。

発想や構想の手立てが多数紹介されています。新しいアーティストや生徒作品を多数紹介し、名作においては、深く掘り下げて説明しています。

3つ目の項目をご覧ください。

親しみやすい作品を多く取り扱い、鑑賞を深める問いかけや、制作の過程で試行錯誤している様子を、具体的に紹介しています。

4つ目の項目をご覧ください。

2次元コードで作品を読み込んで絵に書き込むことができます。

題材の導入に生徒の活動の様子を紹介し、活動をイメージさせる工夫があります。また、教科横断的な視点がコラムに記載されています。各題材の、制作過程を具体的に把握できるように丁寧に説明されており、子どもが主体的に表現及び鑑賞の活動に取り組めるよう工夫されています。一つの題材をより具体的に、制作過程が分かるように丁寧に説明されており、子どもが主体的に表現及び鑑賞の活動に取り組めるよう工夫されています。

3 ページ目、「日本文教出版」です。

見出しが大きく、題材、資料とも幅広く扱い、内容も整理されています。題材の導入や主題のとらえ方を意識し、構成されています。「美術1」と

	「美術２・３上」「美術２・３下」の３冊で構成されています。 内容の１つ目の項目をご覧ください。 題材ごとに評価規準に応じた目標が示されており、さらに「造形的な視点」として見方、考え方を示しています。また、知識、技能に関する資料が巻末にまとめられております。 ２つ目の項目をご覧ください。 題材名の下に、参考作品を鑑賞する上での着眼点や、表現活動の過程において参考となる「表現のヒント」が示されております。２次元コードを読み取って動画を見ることもできます。 ３つ目の項目をご覧ください。 各巻のテーマが巻頭で印象的にまとめられており、２次元コードを使って動画で見ることもできます。また、キャリア教育を意識し、美術の学びがどのように社会に役立っているのか知るため、活躍中のアーティストらのメッセージが掲載されており、学びに向かう意欲を高める工夫があります。 ４つ目の項目をご覧ください。 各題材に「鑑賞の入り口」として作品を見る視点が示されており、生徒作品が大きく紹介されています。ほぼすべての題材に２～３分程度の導入動画を読み込めるようになっていきます。様々な表現の可能性を示唆し、表現の幅を広げるヒントが多く示されております。 以上でございます。
会 長	ありがとうございました。それでは、ご質問はございますか。
副会長	授業の中で、鑑賞シートはどのように使われていますか。
調査員代表	はい。鑑賞シートでございますが、基本的には各教員がワークシートを使う者もおりますけれども、ここにあるようにコンテンツがあれば、シートを書いて、それを読み合ったり、互いに見せ合ったり、発表し合ったりしながら深めていくという形をとっていくことがほとんどでございます。
副会長	あともう一個だけ。２・３年が上下２冊になっているところもあると思うんですが、それについては、使いやすさはどうですか。
調査員代表	２・３年が上下２冊になっている出版社さんもありますけれども、特に美術に関して言えば、基本的には子どもたちの制作等がメインですので、別れているからといって、重さもさほど重くはありませんし、別れていることで何かすごく不具合があるというのは、おそらく美術科の教員として感じるところではないのかなというふうに考えております。
会 長	他いかがでしょうか。
委員A	美術の授業で大切にすることって、うまく描くことなのか、発想が大切なのか、そのところはどのなんでしょうか。

調査員代表	調査員で話し合った際にですね、美術は当然、知識、理論もそうなんですけれども、やはり社会に出た時にというところで言うと、美術科の教員の中では、やはりその発想や構想、そこを重要視したいという声が多いので、もちろん技術が高ければいいというよりは、そこに至る発想や構想を大切にしたいという思いの教員が多いのかなという風に考えております。
会 長	他にいかがでしょうか。よろしいですか。では、ありがとうございました。それでは、「音楽」の調査員代表に、調査結果の報告をお願いします。
調査員代表	本日はよろしくお願いいたします。 初めに、音楽一般 調査資料1、1社目です。発行者は教育出版社、書名は「音楽の贈り物」になります。表現と鑑賞がバランスよく配置され、学習マップで年間の学習内容を関連付けて示しています。様々な音楽について比較して学習することに加え、共通性と固有性を考え、音楽文化の理解を深める工夫がされていると総括しました。学習マップはどの教科書も89ページに掲載されています。学習のねらいや教材、学びの手がかりとなるヒント、歌唱、鑑賞、創作のそれぞれの領域ごとの関連などが分かりやすく示されています。 また、学習の進め方How to studyでは、それぞれの領域での基本的な深め方が生徒に分かりやすい言葉で示されて、前回の改定でもお示しましたが、「比較する」というのがこの教科書のコンセプトになっております。例えば、1の教科書では日本とアジアの声による様々な表現、2、3下では、世界の様々な芸能や音楽に見られるように、様々な音楽について比較して、共通性と固有性を考え、音楽文化の理解を深める工夫がされています。この「比較する」は、この部分に限らず、教科書全体、例えば、1の教科書の14ページに「ドレミの歌」があるんですが、その左下を見ると、15ページの「エーデルワイス」と比べてみようというマークがあります。1ページ進んで、そのアクティブというところで、この2曲の比較から、学びを深めているという様子がわかります。同様に、17ページの「夢の翼」は、32ページの「あの丘の向こうから」と比較するようなど、同じねらいの教材を比較しながら学習していくことで、深い学びにつなげる、そのような工夫がされている教科書です。 次に、音楽一般 調査資料1の2つ目です。発行者は教育芸術社。書名は「中学生の音楽」です。学習者の発達レベルを踏まえた上での選曲、鑑賞曲の配置がなされており、目次とは別に年間の学習内容を俯瞰して見通せるような工夫がされている。QRコードが多く、教科書を通じて生徒が主体的に学びを深めることができる工夫がされている、と総括しました。それぞれの教科書の学習内容がどの教科書も89ページに掲載されています、内容が俯瞰できるように、学習指導要領にある思考力・判断力・表現力、知識、技能がどの教材で扱われているか、また音楽を形作っている要素がどの教材で扱われているかが一目で分かるよう工夫されています。先ほどの教科書が教材ごとの見通しが持てるようにしていたのに対して、この教科書では1年間の見通しが持てるようにしているのが特徴です。また、「継承」ということがこの教科書の様々な場面でテーマになっているようです。例えば、1の教科書では58ページ「日本の民謡」2、3下では54ページ、「私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能」に見られるように中学生が地元の祭りや芸能に関わる場面を紹介し、郷土の音楽文

化をより身近なものと捉え、これらを継承していこうとする態度の育成、そのための工夫がされているという教科書です。

また、QR コードが多いのもこの教科書の特徴の1つです。そこには、生徒自らが主体的に学びに取り組むことができる工夫がされており、音楽を身近なものに感じることができるという風に思います。

教科書音楽家一般調査資料2については、資料の数等ですので、参考までにご覧いただければと思います。QR コードの数、資料数もこの表から読み取ることができます。続いて音楽科学のご説明に移ります。

調査資料1の1をご覧ください。発行社は教育出版社、書名は「中学器楽音楽の贈り物」です。楽器の習得に関わる記載に加え、音楽の比較を通してその共通点や相違点について考えさせることや、創作の要素もあるなど工夫されている。各楽器の基礎から、多彩な組み合わせによるアンサンブル、技能に応じた応用まで、系統的にバランスよく取り上げている。歌唱、創作、鑑賞の各学習活動との関連も配慮されており、学校の実態を踏まえて取り扱うことができるよう工夫されている、と総括しました。音楽科 一般の方でこの教科書を「比較する」がコンセプトになっているとお伝えしましたが、器楽についても同様です。331 ページには管楽器の仲間を比較しており、55 ページから 57 ページは弦楽器の仲間を比較しています。また、生徒が親しみやすいように管楽器は吹く楽器、弦楽器は弾く楽器と示しているのも、音楽により親しみを感じてもらふ工夫と考えます。各楽器の導入では、写真やイラストを活用し、簡単な練習曲から始められるよう配慮され、端末の64 ページからの「Let's Try」では、多彩な組み合わせによりアンサンブル楽譜が掲載されており、学校の実態に合わせて取り組めるよう配慮されています。

最後に、音楽器楽調査資料1の2、発行者は教育芸術社、書名は「中学生の器楽」です。

学習指導要領に示された3つの資質・能力に対応する学習内容や教材を見開きで示し、学習が見通せる工夫がされている。各楽器の基礎から多彩な組み合わせによるアンサンブル、技能に応じた応用まで、系統的、バランス的に良く取り上げられている。歌唱、創作、鑑賞の各学習活動との関連にも配慮され、学校の実態を踏まえて取り扱うことができるよう工夫されていると総括しました。音楽一般の教科書同様、学習内容と教材が3つの観点別に示されており、年間を通して見通しが持てるようにしているのが特徴です。

これは特に通知表や指導要録で評価する教師を評価しやすく、評価される生徒も納得できるようになるかなと思っています。例えば、「聖者の行進」で、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫できた場合、思考力、判断力、表現力がAになる。それは一目見るとわかるように工夫されている、というところがこの教科書の特徴です。各楽器の導入では、写真やイラストを活用し、簡単な練習曲から始められるよう配慮され、アンサンブルでは多彩な組み合わせによるアンサンブル楽譜が掲載されているほか、74 ページの「笑点」、82 ページの「アラジンの「ア・ホール・ニューワールド」のように、子どもたちが思わず取り組みたくなるような、そんな選曲の工夫もあります。

音楽科器楽調査資料2については一般と同様、資料数等ですので、ご参考までにご覧ください。

私からの説明は以上です。

会 長 はい、ありがとうございました。ご質問等ございますでしょうか。

委員A まず、歌のほうですね、発声の仕方について、どちらの教科書もうまく表現ができているのか、ということと、楽器の使い方、操作方法の説明内容に差があるのかなと思います。その辺についてどうですか

調査員代表 これは調査員が言っていたものなんですけれども、この2社を比較すると、あんまりこう、どっちの方がいいとか悪いとかっていうことではなく、「音楽の贈り物」、教育出版の方が、比較的こう優しい表現がされている、で、教育芸術社、「中学生の音楽」の方が 詳しい表現がされているということで、先生方は音楽が得意な人たちが調査員になっているので、自ずとどちらがいいかっていうのは、すごくこう感じるところはあったわけなんですけど、ただ、子どもたちがまだ音楽にあまり親しみが持ててない場合は、優しい表現の方がより親しみやすくなる。で、音楽がこう深まってくと、少しこう詳しいものを欲するっていうことで、先ほど、1 番最初にあった、歌唱の表現についても、ちょっと、1 ページで扱ってるのと、2 ページで丁寧に扱ってる場所の差みたいなところはあるんですが、でも、基本的なところは、どちらもしっかり押さえているというところになるかなと思います。また、器楽の質問で言うと、特徴的なのは、1 番最後に、キーボード表とかコード表があるんですけども、これが、教育芸術社の方が、こう、写真なんですね。実際、指の写真を載せて、ここを押さえるんだっていうふうに。で、教育出版の方は、指の絵なんです。しかも、こう、比較的こう、簡易に書かれてるとか、あんまりごちゃごちゃ書いてない。で、これにもついても同じかなっていう風に思うんですけども、優しいのと、より実際のところをイメージしやすいものの差なのかなっていうふうに思っています。答えになったでしょうか。

会 長 他にご質問どうですか

副会長 今お話ししたときに、ちょっと好みが出てくるのかなっているところを感じるのですが、実際にちょっと2つの教科書を比較してみて、譜面を見ると結構違いがあると思うんですが、濃く書いてあってわかりやすいとか、薄く書いてあったりとか、あとは見た感じでわかりやすい、わかりにくいとかあると思うのですが、そのあたりはどのような感じなのでしょう

調査員代表 譜面の例えば数なんかは多い少ないっていうのがあるかな、と思うんですね。で、多くなればなるほど、やっぱり譜面自体、ページ数がある程度限られてるので、少し小さくなって見づらくなるっていうものもあるかと思うんですが、どちらの教科書も、ある程度、発達段階であったり、それから子どもたちのその能力、ちょっと初歩的なところからやらないといけない場合は、比較的簡単な楽譜もしっかり用意されてますし、ちょっと高度になってくれば、難しいアンサンブルなどの楽譜も用意されているので、調査員の中でその見た感じの見にくい・見やすいというような議論はされませんでした。

会 長	他いかがでしょうか。 では私の方から。 様々な選曲がなされてるっていうことでしたけれども、それぞれの教科書でその選曲の特徴みたいなものはあるんですか。
調査員代表	これ、選曲の特徴っていうか、同じ曲もいっぱい入ってますし、特に私、ちょっとこの笑点のテーマなどは、実は前の教科書も同じように載ってたんですけども、たったた、たららら、たった、っていうのですね。テーマが入ってるっていうのがちょっと特徴的だなっていうふうに思いました。やっぱり子どもを引きつけるっていうところはそういうこともあるんだと。私、「ア・ホール・ニューワールド」の話も一緒にしましたが、でも、「ア・ホール・ニューワールド」は、実はどちらの教科書にも入ってるものなので、そういうことはどちらの教科書も考えてる、子どもたちがどんなものに引きつけられるだろうっていうのは考えながら選曲をしているというのはあります。
会 長	ありがとうございました。他よろしいでしょうか。それでは、ありがとうございました。 以上で、調査員の調査研究結果の報告を終わります。ありがとうございました。 ここで1時間の休憩を取ります。この後の協議は午後1時から再開したいと思います。よろしくお願いいたします。 1 2 : 0 0 (昼食・休憩) 1 3 : 0 0
会 長	協議に入る前に、進め方についてお諮りいたします。第五採択地区協議会規約第十一条に従いまして、協議会の会議において協議し、委員全員の一致によって決してまいりたいと思います。協議が調わない種目があるときは、委員は、それぞれ選定すべきと考える教科用図書に投票を行い、過半数の投票を得た教科用図書を選定いたします。その場合において、過半数の投票を得た教科用図書がないときは、最多数の投票を得た2種類の教科用図書について投票を行い、多数を得た教科用図書を選定します。この場合において、投票を行うべき2種類の教科用図書及び選定する教科用図書を定めるにあたり、得票数が同じときは、協議の経過を勘案し、会長がこれを決めます。よろしいでしょうか。
委 員	(異議なし)
会 長	それでは、本日欠席されている委員より委任状をお預かりしておりますので、ここで読み上げさせていただきます。 「私は、第五採択地区協議会における議決の権限を、別紙様式の内容も含め、議長に委任いたします。また、採択の際に同数であった場合においても、権限

を議長に委任いたします。令和6年7月10日。（氏名）」

よろしいでしょうか。

委 員 （異議なし）

会 長 ありがとうございます。それでは、協議に入ります。協議の時間は、国語、書写、社会、地図は各15分、その他の教科は10分を予定しております。投票用紙配布されますか。

（事務局 投票用紙配付）

会 長 それでは初めに、国語につきましてご意見を述べてください。よろしくお願いいたします。

委員A 現行の教育出版は、教材の難易度が高くてですね、それが良い悪いは別として、教材の難易度によって、もしかするとついてくることができない生徒がいるのではないかということも気になりました。その点、東京書籍は発達障害の生徒にも易しいつくりになっているし、光村は簡潔で分かりやすい。三省堂はイラストが充実していて、イラストでつかませることもできそう。現行でいか、生徒にわかりやすいものでいくかといったところですね。

会 長 ありがとうございます。他ご意見ございますか。

副会長 国語の教科書は以前ずっと光村を使ってきて、前回の採択で教育出版に代わりましたけれど、改めて今回新しい教科書を見させていただいて感じたことを申し上げたいと思います。特に光村についてなんですが、埼玉県調査資料2の領域別教材数の表を見ると、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のという項目があるんですが、光村図書の教科書が大変多いんですね。私は、特に「書くこと」は中学校で特に身に着けてほしいなと考えていて、ICT教育が進んでいく中で、将来的にどうしても、パソコンを使うことになっていくことになってしまって、書く機会が減っていくと思うので、やはりこの時期にこういったことを身に着けていくことが、大人になったときに大切になってくるのかなと思います。それから、光村の場合は、物語、小説、随筆がとても多いということ、また、単元の終わりに「学びの扉」があって、単元が終わってから考えを深めることができます。巻末資料もとても充実していて、例えば「語彙ブック」が、とても言葉が広がっていいと思います。大変多くの言葉が載っています。

あとは、書くとか話すことが充実しているものになっているんですが、裏表紙にICT活用のヒントがあって、こういった新しいものもちゃんと取り入れられています。あとは新しい題材で、特に中学2年生に、伊坂幸太郎さんの小説「ヒューマノイド」が載っているんですが、「恥ずかしさ」をテーマにして、大人から見た中学校時代を振り返って、ということで、中学生を子ども扱いしないで、みたいなメッセージでとても読んでいて面白かったので、是非中学生

にも読んでいただきたいと思います。

総合的に考えて、私はできたら、もう一度光村に戻していただけたらと思います。あとは、アンケートにもいくつか戻してほしいという意見も出ておりましたので、そちらもぜひ考えていただけたらと思います。

会 長 ありがとうございました。他にいかがですか。

委員G はい、ありがとうございます。私も、今回、国語に関してちょっとこう、アンケートですごく目を引くものが多いなと思ひまして、今の教育出版さん、やはりちょっと、先ほど委員Aからもありましたけど、ちょっと難しいっていうのと、あと、死を扱った内容がとてもしんどいっていうのが、ちょっと私の中で確かにそういう内容は特にその、思春期の段階で辛くなるんじゃないかなって。はい、娘に置き換えた時に、やっぱり気分沈んじゃうんじゃないかなって、ちょっと思ひました。で、やっぱりその光村図書の「語彙ブック」ですとか、戻してほしいっていう意見ですとか、QRコードが充実してて光村図書は良いっていうような意見もあって、実際現物拝見して同じように思ひましたし、小学校も光村図書ということですので、馴染みのあるままスムーズに移行できるんじゃないかなと思ひました。以上です。

会 長 はい、ありがとうございました。他にご意見ございますか。

委員D 教育出版の教材もよく読むと、非常に深いものが伝わってくるんですね。光村の場合は、割とすんなり入ってくる。どちらがいかっていかということですね。自分たちに考えさせるっていうところではどちらも良い。例えば私立の学校なんかで言うと、もうほとんどバラバラ。その両者も採用されている。やっぱりそれぞれの良さがあって、その学校の、こう色んな考え方でその教科書になるかとは思ひんですが、そこをどう判断するかっていうところだと思います。で、子供たちに、これからの学びでどういうものを伝えていくか。優しい、入りやすい本からいくのか、それとも少し難しいところを目標にして、自分たちの考え方を深めていくのか。そのあたりの選考だとは思ひんですが。

会 長 ご意見他ありますか。

委員D 前回の採択の時に、やっぱり光村とこの教育出版、両方中身は結構よかったんです。で、その時僕は光村派だったんですけど、今回見てて、光村はどうしてもぱっと開いた時の目の付き方がちょっと劣るかなと。順番にこれ（各社の教科書）見てたんですね。最初。で、東書から見ていくと東書はやっぱり見やすくって。で、こちら三省堂ちょっと落ちて、で、教育出版見やすいなって思ひたんですよ。これ、見やすさだけの話なんですけど。で、光村見た時、なんか紙面、他のよりちょっと落ちるなっていうのが今回のイメージで。で、前回と違って、結局さあどれにしようって時に、こういう説明聞く前は教育出版かなって迷ってたんですね。で、今聞いてて、確かに光村さん、内容はもともと一番良いんですけど、この紙面の、この作りというか、なんかこう、ぱっと開

いた時目の付き方なんですよね。ただ、教科書ってページを先生に言われて開くんで、その他の雑誌とは違って、こう、パツとした目のつき方、あんまり関係ないかなとはちょっと思っているんですが、ちょっとそこが光村さん、今回気になるところです。他は、内容は光村とかよりも教育出版の方がレベルが高いのかなとは思っているところあるんですが、内容は面白いものだと思います。

会 長 他にご意見ありますか。

委員E 子供たちにどういうことを学んでいてもらいたいかって、先ほど委員Aがおっしゃったことで、私はやっぱりこのデジタル化が進んでる中で、こういう紙面で本を読んだり書いたりする機会がやっぱり減っていくんじゃないかなと思うので、やっぱり育成、

現代の子どもたちには、逆にその経験を増やしてあげた方がいいんじゃないかなって。私は個人的には思います。なので、こういう比較してみた時に、やっぱり光村さんの読むこと、書くことってというのが多いのは魅力的だなっていう風には思います。

会 長 ありがとうございます。他にご意見ございますか。はい、お願いします。

委員B 前回の改訂というか、私、光村世代なので、光村でずっと来て、子どもたちもずっと光村でした。大体もう頭には入ってはいないんだけど、見てみると、懐かしいなあって。で、やっぱり同じようなところで、同じ教科書、同じ内容で親子の話ができるんであればって思ったんですけど。ただ、新しく学ぶ子どもは、いろんな題材を学んだ方がいいなと思って、前回は教育出版さんを推したんですけど、副会長やM委員も言っていたように、やっぱり教科書云々ではなくて、最近の生徒の、書くことってすごい重要だなとかすごい思ってた。なんだろう、普通に携帯見てもなんだこの文章、みたいになっていうのがあるんで、本当、書くことっていう、そこは大事だなって思った時に、教科書の中の何の題材が良いとかではなくて、そこに力を入れてるっていうところでいくと、私も光村に帰りたいと思いました。

会 長 ありがとうございます。他にご意見ございますか。

これまで出たご意見からしますと、教出の難易度がやや高いのかな、でもそれによる学びもあるんじゃないかというご意見と、光村の扱いやすさ、苦手な子でも取り付きやすい内容があるということ、あと、読む・書くが充実しているというようなご意見にまとめられるかと思うんですが、全体としては光村の声が多かったかなと思うんですが、いかがですか。

(しばし沈黙)

会 長 では、あえて光村以外が良いという方がこの場でいらっしやらないということではよろしいですかね。

委員 (異議なし)

会長 では、国語については光村ということでよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

それでは、続けて書写へ移りたいと思います。次いでご意見ありましたらお願いいたします。

委員A 先ほどお話しした、その、デジタルで、この書き方を見せるところもあるんですけども、やはり上から映すよりも横からの方が、腕のこう、圧のかけ方とか非常に分かりやすく、それが光村の方がうまく撮ってるなと思います。それと、筆の使い方の強弱、ここの表現もうまくできてると感じました。

会長 他にいかがでしょうか。はい、お願いいたします。

副会長 私も同じく、とても（光村が）画像の資料が充実されていると思いました。あと、先ほど説明の時にもお話ししたんですけども、書写ブックの資料に、常用漢字表というのがあって、楷書、行書と豊富にあって、その中に人名用漢字表というのがあります。で、ここは、常用漢字と常用漢字以外の人名漢字表っていうのがあります。で、昔はこんなに子どもたちの名前が多様化していなかったのですが、今は常用漢字ではない漢字を使ったお子さんの名前がたくさんあると思うんです。それで、実際何が行書で書くときに、書き方がわからない。で、先生が全部それを手本を出すことになりますので、いろんな時に、書きぞめもそうですし、それ以外のところもやはり変わりになるかなと思いますし、そういうところの充実も見ても、やはり光村が良いと感じました。

会長 ありがとうございます。他はいかがですか。

委員G 同じ意見です。

会長 みなさん頷いてらっしゃるようですが、書写は光村ということでよろしいですか。はい、ありがとうございます。

それでは、社会地図に移りたいと思います。ご意見がありましたらお願いします。初めに、地理的分野についてお願いします。

委員A その前に聞きたいのですが、今現行は地理が東書、公民も歴史も東書ですけど、イメージとして揃えなければいけないようなものはあるんですか？

会長 その必要はないです。

委員A はい。

会長 それでは、地理的分野からご意見をお願いします。

副会長	地理については、QR コードが多いのと少ないのとあるんですが、東京書籍はQR コードがとて多くて充実しているのと、あと学習課題の問題の出し方が良いと思いました。とても生徒にわかりやすいのかなと思います。あととても資料が多くてわかりやすいと思いますので、私は現行の東京書籍がよろしいかなと思います。
会 長	他にいかがでしょうか。もう少しご意見をいただけるとありがたいのですが。 (しばし沈黙)
会 長	はい、お願いします。
委員A	帝国書院は、「タイムトラベル」っていうところで、当時の様子がイラストで描かれていて、すごいイメージしやすいところと、まとめのところが色々豊富で、さっき国語のところでも出てきたんですけど、まとめの部分が色々何ページにも使っているんで、そういうところも評価できるかなと。
委員D	東書は、いつも他のでも言うんですけど、すごく教科書として見やすいのと、子どもがとらえやすいんじゃないかなというのがあります。ただ、帝国書院の方が、地図帳との関連、連動性とか見てもかなり作りが良いんですね。地図や写真もとてもきれいなんです。が、やはり教科書として子どもたちが使っていくならやはり東京書籍の方が全体を見てもわかりやすいですし、内容も十分だと思います。個人的には東京書籍を推したいと思います。
会 長	ありがとうございます。他にご意見いかがでしょうか。 (しばし沈黙)
会 長	ここまでのご意見は、東京書籍の内容が充実してるし分かりやすいという内容、それから帝国書院の内容がイメージしやすい、また地図との連動性がいいというような2つのご意見が出ているかと思います。 他いかがですか。
委員E	東京書籍さんが先ほども言われたように見やすいのと、今までも慣れ親しんでいる教科書ということで、特に問題がなければ私も東京書籍が良いかなと思います。
会 長	はい、ありがとうございます。 ここまでのご意見ですと、地理的分野については東京書籍をとという声が多いかと思いますが、よろしいですか。
委 員	(異議なし)

- 会 長 はい、では地理的分野については東京書籍ということで、次に歴史的分野へ移りたいと思います。
- 委員A 帝国書院がイラストでとらえやすいのと、まとめが充実しているので振り返りがしやすいのかなと感じます。内容ですと、山川出版は少しレベルが高いのかな、というのと、東京書籍は、今使われているからに確かにわかりやすいな、と思っています。
- 会 長 はい、ありがとうございます。他にご意見ございますか。はい、お願いいたします
- 委員D 現行の東書はやっぱ他よりかなり見やすく良いかなと思っているんですが、内容の面で色々話が出やすい部分だとは思うんです。前回の時、育鵬社が話題になって、で、今回見ると、自由社と令和書籍なんですが、かなり、何を言ったらいいんですかね、はっきりと色んなこと書かれているので、かなり育鵬社がおとなしく感じるような内容に今回はなっているんじゃないかと思って見ていました。で、内容的に見ていくと、個人的には結構こう、なんて言うんですか、考えが出やすい話なんであんまり言うのはどうかなと思っているんですが、先生たちが使いづらくなければ、先ほども質問した通りなので、東書並みに使えるのであれば自由社であっても育鵬社であっても良いのかなというところなんですけど、作りだけで、単純にこう素人目線で見ってしまうと、どうしても東書の良さが目についてしまうっていうのが今現状なのかなと思っています。中身は歴史のところなんで、この歴史と道徳の部分でかなり国民性作ののに大きなところなので、今ここでこんな大きなこと言っているかちょっとわかりづらいんですが、かなりこう、日本人っていう感覚作ののに大事な部分だと思うので、かなり真剣に選んでいかないといけないところなんですけど。いろんな考えがあるので、教科書として優れてるっていうのがあれば本当に選びたいところなんですけど、そこは皆さんちょっと判断が出るのかなとは思っています。個人的には自由社、育鵬社あたりでもいいのかなとは思っています。という意見で一回止めておきます。
- 会 長 はい。他にいかがですか。
- 委員G はい。歴史が一番苦手だったんですけど、私自身。さっき委員Dからもね、自由社、育鵬社で、先生、やりづらさとかはあるんですか。っていうところで、特にそういうのはないっていう。必要があれば別の参考書を用いて説明することもできるしっていうことがあったので、ちょっと私は本当にもう、歴史、ただただ、なんかその、暗記だなんて思って、当時。興味ないことが全然頭に入ってこなかったんです。そうなった時に、自由社さんの総括のところで、「もっと知りたいコラム」、その時代の人物や時代背景を掘り下げることができるっていう評価がありましたので、もしかしたら情報量多いかもしれませんけども。あと、漫画の吹き出しで、一応、なんででしょうかね、とつつきやすいような絵柄にもなっていましたので、そういったところで、ただただ、西郷隆盛何した人だっけな、って暗記する時に、ちょっとこういう深掘りでき

る情報があるのであれば、そうですね、当時の私ももうちょっと覚えてたかもしれないなと思いました。以上です。

会 長 ありがとうございます。他にいかがですか。

委員E 見やすさで言ったらやっぱり東京書籍さんなのかなって思うのと、QRコードがちょっとやっぱり豊富にあるので、そこからいろんな資料を引っ張ってこれるのかなっていう気はしました。

会 長 はい、ありがとうございました。

副会長 たくさんの教科書会社がありまして、この中でも、個人的に言うと、山川出版のような深い理解が得られるような、そして高校生が使ってるような教科書を使ってもらえたらなんかいいなっていう気持ちはあるんですが、現実を考えると、ちょっと難しくて、授業として使うのは今ちょっと困難かなと思い、残念な部分ではあります。で、そういうことも考えますと、やはり学習課題がはっきりしていたり、構成がしっかりしていて、資料とか写真も多く掲載されて、子どもたちにも入ってきやすいところでは、東京書籍さんの教科書が、全体的なバランスを考えるといいのではないかと、また、先生にとっても使いやすいのではないかと思います。また、QRコードがあるところとないところということで、先ほどもちょっとお聞きしたんですけども、QRコードを見ていくと、その投げかけ方がとてもよくて、思考ツールの活用とか、その中でワークシートの活用とかもできるので、生徒がそういうことを活用できるのではないかと思います。

会 長 ありがとうございました。他にはいかがですか。はい、お願いします。

委員C 皆さんからいただいてるご意見と同じではあるんですけども、私も東京書籍の方がちょっと魅力的かなという風に感じているところです。子どもたち、中学校だと受験することが多くて、その中で色々こう知識を蓄えていくっていう中で、何かわからないことがあった時に、そのヒントをもらえたりとか、一般のそのウェブの中から情報を探すということに比べたら、基本的なところでQRコードで学びを深められるっていうのはすごく魅力があると感じました。

会 長 ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

(しばし沈黙)

会 長 そうすると、ここまでのご意見では、東京書籍で親しみがあるという、また、見やすい、課題や資料なども含めて理解しやすい、バランスが良いっていうようなご意見と、帝国書院の「タイムトラベル」などのイラストのイメージのしやすさ、あと、まとめというところを書くところが多いということもいいんじゃないかというご意見。それから、育鵬社の内容的にも学ばせたい内容が入っているということ。それから、自由社のご意見も出ておりました。今、い

くつかの教科書会社に分かれておりますので、この場合は投票ですか。よろしいですか。

委員D 投票しちゃってもいいと思いますけど、話しますか。

会 長 ちょっと待ってください。もう少し、じゃあ議論を、いう声がありますので、もう少し議論をしたいと思います。何かご意見があればお願いします。はい、お願いします。

委員D ここで今話しているのは、結局教科書として見ていかないといけないところがあるので、やっぱりというか、東書はかなり強くなる。自分は個人的には自由社とした、内容だけ見て自由社を推したいんですが、ちょっと急に振れすぎちゃうところもあるので、少しぐらいなのかなとは思ってるところもあるんですが、これ、中身だけじゃなくて、やっぱり教科書としての質、その学びやすさが結構大きなところだと思うんです。ただ、内容的には結局、歴史ってその物事、その当時の考え方とか、その考え方でどう選んでるかっていうことがわからないと、まるっきり今の価値観だけで話してしまうと、あんまりこう、歴史としては良くない。あの録画みたいな形で行きたいのはわかるんですけど、それはまた別の話なんで。これから先、その当時どう考えてるのかってことをちゃんとこう、戦前、戦中、戦後あたりもしっかり学んでいく必要があると思うんですね。その辺りに、結局これから先、選んだ自由社ですけど、別に自由社じゃなくてもいいんで、こういうものが他にどんどん出てきた時に、どうやったらそれを選んでいけるのかなとはちょっと思うので、その辺も含めて教えてもらえればと思います。

会 長 他にいかがですか。

委員G 素朴な疑問なんですけど、その、歴史って何が正しいってどうやったらわかるんですか。

委員D 一次資料から見ていくのが一番間違いない。結局、二次資料、三次資料とか例えば新聞とかで、見ていっちゃうと間違いやすい。で、その後の考えも入っていくから、っていうのがよく言われるところだけど、一次資料で見ていくっていうと、どれが一次資料か、の判断基準が素人には難しい。

委員G なんか、さっき委員Dのお話で、なんかちょっと前はなんか育鵬社さんとか、ちょっと内容が今までと変わりすぎてた、それが、ちょっとこう、おとなしくなる。要は、内容…

委員D いや、大人しくなっていない、だって他のことははっきりしているから。

委員G そうということですか。あと、なんか、でも、同じ会社でも結構歴史の記載の仕方とかが変わってきてるのであれば、どうしてもここで採択する時って、やっぱり先生の授業だったりとか、今、先生がね、すごい減ってしまっているの

で、先生が要は授業がしやすいとか、子どもたちが歴史に嫌悪感を抱かないだったりとか、そういった目線で考える方が現実的なのかなと思いつつ。で、そうすると、その歴史の掲載する内容とか、実際数字で見た時に、県教育委員会の資料の歴史のところの調査資料2のところ、やっぱり数字だけで見ると、QRコードの量ですとか、取り上げてる人物の数ですとか、取り上げてる歴史のページ数ですとかが満遍なく多いのが東京書籍さんだったりとかして、で、自由社さん、育鵬社さんの内容がこう年々色々こう変わってきてるっていうのであれば、もしかしたら近い将来、また、なんかQRコードとか、そういう教科書としての見やすさも、あと、内容と同じぐらい充実する教科書が出るのかなって思うんですね。さっき、その自由社さん、その深掘りができてっていうのが、って言ったんですけど、どうしてもQRコードがなかったの、なかったですよ。そうですね。で、今、子供たちね、なんでしょうか、型落ちの重いiPad持たされてるので、せっかくならQRコード活用できないのかな、っていうのがちょっと残念な点ではあるかなとは思いました。

会 長 ありがとうございました。他ご意見いかがですか。
現状ですとこれという風にまとめるのは難しいかなと思いますが、声として大きかったのは東京書籍だったかなという気がしています。

委員D 全部検定を通っているの、内容はまず問題ないところです。それと作りで僕らは選ぶしかなくなりますね、教科書ですからね。

会 長 そうしますと、東京書籍という声が強かったと思いますが、どうしますか。投票しますか。それとも東京書籍ということで全員一致ということでよろしいですか。

委 員 (異議なし)

会 長 よろしいですか。はい。それでは、歴史に関しては東京書籍ということでよろしく願いいたします。続けて、公民に移ります。ご意見ありましたらお願いします。

委員G そうしますと、ちょっと子ども目線で立ちます。立ってみた時に、歴史と公民が違う会社っていうのもちょっと頭こんがらがっちゃうんじゃないかなとは思いました。なので、歴史が東書に決まったのであれば、ちょっと公民がどうっていうよりは、合わせてあげるのがいいんじゃないかなと思います。

会 長 はい、ありがとうございます。

委員A 他の地域を見てみますと、合わせることはないみたい、全てバラバラのところも結構あるみたいですね。合わせるとかはないんだけど、結果的に合うことになるのかなと。

副会長 はい。私も、合わせるという意味では、同じ方が、生徒も同じ社会科の中で

授業しやすいのかなということ、また、東京書籍については、内容的に学習課題がわかりやすく、学習の流れも工夫されていて、課題の解決へのステップなども工夫があるということと、また、他の社会の教科書全般に言えるんですけど、資料とかが、物によってコラムとか、そういった面でも東京書籍が良いのではないかと。

会 長 ありがとうございます。他、いかがですか。
一応、公民、これまでのところ、皆さん東書が良いというようなご意見ですけども、公民について、東京書籍ということではよろしいですか。

委 員 (異議なし)

会 長 では、公民は東京書籍ということでお願いいたします。
最後、地図に移りたいと思います。

副会長 両方見ていくと、帝国書院の方が地図の色遣いがとてもわかりやすいと思いました。また、巻末の日本の統計資料が、東書にも同じようなものがあつたと思うのですが。新しいものが掲載されているというのは、子どもたちの学びにはそういったものの方が良いのではないかと思います。以上です。

会 長 ありがとうございます。他にいかがですか。
はい、お願いします。

委員A 東京書籍は地図の中にすごい情報がたくさん入っているために、逆にわかりづらくなってしまっている。その点、帝国書院は地図の色分けなんかも見やすくって、その分情報量が少なくても、やっぱり見やすさっていうのが大事なのかなという点で帝国書院なのかなと思います。

会 長 ありがとうございます。頷いている方がほぼ全員ですね。では、地図に関しては帝国書院でよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。
続いて、数学に移りたいと思います。

委員G 数学も特に得意ではなかったのですが、世論的な観点では意見は述べられません
が、東京書籍のこの評価のシートで、まず、内容の中で繰り返して問題が解けるっていうのが、今、娘、小学生ですけども、5年生なんてだいぶもう私ですらわからないのがあるんですけど、例えば宿題をやるときに今日学んだことをその日のうちに宿題でやってくれば解けるんですけど、もう次の日になったらもう解けなかったりするんですよ。
そうすると、やっぱり繰り返し解くっていうのは本当大事だなと思ったのと、本当に個人的な感情なんですけど、表記、表現の「生徒が取り組む問題は、ですます調が用いられ」っていう。私もこれ、中学生の時なんか、「なんとかの答えを求めよ」とかなんか言われた時に、すごい今思い出したのが、わざわざ「答えを求めてください」って書き直してた記憶があるんですよ。ちょっとやっぱりなんかイライラしちゃう。こう、思春期でイライラしてると、なんで命

令されてんだらうって思ったことがあって、もう全然すいません、学力とかに関係ない意見になっちゃうんですが、でも、この評価にわざわざこの「ですます調が用いられ」っていうのが載ってるっていうことに、私はちょっと嬉しく思いましたので。あと、現行も東京書籍さんということで、特に突出して他のやつでこれだ、っていうのはちょっと私は今回見当たらなかったんで、東京書籍さんでいいんじゃないかなと思っております。以上です。

会 長 ありがとうございます。他にいかがですか。
はい、お願いします。

委員A 東京書籍は、日常生活のあらゆる場面と数学を結びつけることをすごく大事にしているところが良いなと思います。説明もとても丁寧で分かりやすいと思いました。

会 長 他にご意見ございますか。

東京書籍が良いというご意見が出ていますが、それ以外のご意見、もしありましたらお願いします。
よろしいですか。

委 員 (異議なし)

会 長 では、数学に関しては東京書籍ということでよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。
続いて、理科に移りたいと思います。
理科につきましては、何かご意見ございますか。いかがでしょうか。

委員G まず先に、ちょっと私の中で引っかからなかった部分なんですけど、教育出版さんが色覚異常の子のために太文字をオレンジにされてたんですよ。ただ、それを私が教科書見た時、ちょうど多分疲れてたんでしょうね。目が疲れてる時、オレンジちょっと見づらくて、だったら普通に黒の太字でいいんじゃないかなと思ったんです。で、その上で、東京書籍さん、小学校からの移行がしやすいっていうちょっと意見もあって、あと、フォントサイズとか他のはちょっと、どんどん小さくなるっていうものもなんか何社かあったと思うんですけども、しっかりと情報量が1年生から3年生まで載っているのであれば、小さくする必要ないのかなと思ひまして。そうですね、それ以外にちょっとすいません、特に大きな理由は、ごめんなさい、言えないんですけど。

副会長 東京書籍さんが私も良いと思うんですが、問題発見の部分で、フローチャートでされていて学習の流れが明確になっていて、先生からも指導しやすいのかということと、やはり先ほどお話があったように、小学校でも東京書籍を使っているスムーズに移行できるんじゃないかなと。あと、写真やイラストも大きくて、QRコードも多いということ。で、先ほどグラムの話が出て、理科だ

けどうしてグラムの話が出るんだろうと思って不思議だったんですけども、他に比べて、例えば教育出版は2000グラムで、そこに比べると東京書籍は1695グラムで300グラムも少ない。で、中身はどうなんだろうと思ったんですけども。ただ、お話を聞いている中で、充実した教科書であれば、それはあんまりか関係ないかなっていうことと、充実した教科書でより軽ければ、子どもの負担も軽くなるし、という意味では、東京書籍がバランスがいいのではないかと思います。

会 長 はい、ありがとうございます。他にいかがですか。
 もうお一方くらいいかがですか。

 (しばし沈黙)

会 長 そうすると、今いただいているご意見ですと、東京書籍が良いというようなご意見が多いかと思いますが、東京書籍ということでよろしいですか。はい。ありがとうございます。

 続いて、先ほど説明をいただいた順番から。次、保健体育になります。よろしいでしょうか。

 保健体育についてご意見いただければと思います。

副会長 保健体育は、現行は学研ということで、学研でそのままでいいかなとは思ったんですが、色々比べてみたところ、大修館の教科書がとてもコンパクトにまとまっていてわかりやすいかなと思いました。で、細かいところを見ていきますと、先ほどの説明にもあったんですが、わかりやすさという面では、課題をつかむ発問が載っていたり、各章の最後に章末問題があったり、紙面の構成も非常に良いのかなと思いました。あと中身なんですけど、例えば75ページに「野外スポーツの危険と対策」というものがあるんですが、そこに離岸流についての説明が載っていて、これは事故があつて問題になったと思うんですが、そういった知識についても載っているということと、あと109ページなんですけど、性的な犯罪、暴力を起こさないようにということと、発展っていう部分のところなんですけど、様々な性暴力について、どうしたらいいか、ついて触れているというところ、あとは、交通事故の実態と経緯という、104ページのところなんですけど、ここは先ほど説明にあったように、スマホによる事故についての記載がありました。これは現在の部分で、こういった新しい部分についても入っているということ。また、106ページに資料として、「自転車安全利用規則」というものも載っていました。そこには、コラムとしてヘルメットは命を守るということも書いてある。それから、39ページには、「健康相談コーナー」ということも載っていて、43ページには、「制服について」ということで性の多様性について、それから74ページには、中学生のスポーツ障害の対処法ということでオスグットなども掲載されていましたし、細かいことなんですけれども、そういったことが詳しく載っているので、実際授業では使われないかもしれないですが、子どもたちがこういったものを目にして学ぶことが、命を守ったり、事件から自分自身を守る知識として大事だなと思ってい

ますので、 ちょっと大修館もいいのではないかなと、ちょっと今まだ迷っているところではあるんですが、そのように思います。

会 長 はい、ありがとうございました。他ご意見いかがですか。

委員D 実際に見てみたいのですが。

会 長 では、時間をとりましょうか。前の時計で15分までということで、実際に教科書を見る時間をとりたいと思います。

(暫時休憩)

会長 それでは、再開したいと思います。実際に教科書をご覧になったご意見を伺いたいと思います。

委員B やはり体育っていうと大修館っていうのは、昔はそう思ってた、で、うちも大修館とかって今迷ってることで、迷ってることというのが、先ほど副会長さんが、オスグッドって結構メジャーなスポーツ障害なのに、割と知られてないと。で、今、学研と大修館見たら、学研の方はレントゲン写真で、で、大修館の方は絵だったんですけど、なぜなるのかについては、学研の方はオスグッドの状況しかなくて。で、大修館の方は、オスグッドがなぜなるのかっていうところがあったので、こっちかなって思ったんです。それと、前回も、やっぱりASUKA モデルっていう話が出た時にね、埼玉新聞だと ASUKA モデルの話も結構出てくるので、やっぱり埼玉県にいる以上、ASUKA モデルかなって言った時に、大修館はASUKA モデルだけだったんですね、コラムとして。で、学研の方はASUKA モデルのコラムで、ASUKA モデルの前の段階で、AED を使って社会復帰した話で、ASUKA モデルの方、明日香さんの方は使えなくて残念だったっていう話、両方載ってたので、蘇生、AED になると学研かなって。で、あと、そうすると、心肺蘇生法のところを見ると、より写真とか詳しく、これ見たらできそうかな、っていう風に考える紙面が学研かなって思ったんです。ただ、色々比べてると、どこを取るかで、学研か大修館か。私、学研じゃなくて、大修館で育ってきたので、大修館の方がもう慣れ親しんでいるという感じなんですけど、小学校の時には、やっぱり学研の方が優しいっていうか、柔らかいっていうか、見やすいっていう、そういうのもあった。ただ、さっき委員Dも「中学生だからね」って言った時に、ちょっとう、専門的なのが入ってもいいのかな。だから、学研にあって大修館にはない情報でも、先生がちょっと足してあげればそれで済むことなのかなって今思ってた、6対4ぐらいでちょっと迷ってます。

会 長 ありがとうございました。はい、お願いします。

委員D 個人的には学研推しで、ずっと今ここに座ってたんですが、今現物を見て、個人的に小さいトピックが多いのってあんまり好きじゃないんですよ。そんなもの自分で調べればいいし、読まない子は読まないし、必要な子は他のもので

いいだろうっていうのが すごい強くあるので。他の教科でもあんまりそういう細かいのを用意しているっていうのは、逆に本筋の部分をしっかりやって見やすく作ってくれた方がいいっていう思いが強いんですが、今見ていると、大修館の方はかなり見やすく読みやすくできてたので、中学生が読むのであれば別にこのぐらいの字面の細かさでもいいのかなっていうのは強く思いました。学研の方はかなりさらっと紙面が空いていて、読むのが苦手そうな方でもかなり見やすいなと。だから、必要最低限のことはもちろん書いてあるので、そういうものの方が万人に対して学びやすいのかなとは思ったんですが、中学生ってことを考えると大修館ぐらいは読めてほしいとは思いますが。なので、大修館もかなりいいのかなと思っているので、やっぱり迷っているとこなんです。五分五分ぐらいです

委員G はい。こちらに関してですね、今改めてちょっと、本当は1、2、3、4社あったと思うんですけども、大修館さんと学研さん見比べた時に、文字が大修館さんの方がちょっと大きくて見やすかったっていうのと、これまたやっぱりその、保護者代表で来させていただいてますので、保護者目線で娘のことを思った時に、やっぱり性意識に関するページで、他の何社かは「性意識が芽生える頃ですよ。でもそれって個人差があるから相手に押し付けないでくださいね」という記述に対して、大修館さんは、「性意識の変化が現れます。それはでも自然な心の表れですよ」というのをはっきりと明記してくれてたのがここだけだったかなと思いましたが、私は大修館さんがいいと思っています。

会 長 はい、ありがとうございます。他にいかがですか。はい、お願いします。

委員E はい。大修館さんと学研さんをこう、ぱっと見比べた感じだと、学研さんの方が絵とか、イラストとか写真とか、なんか全体的に優しい感じに対して、大修館さんはなんかしっかりと細かく、具体的、ちょっとリアルに近いような、こう、イラストというイメージがまずありまして。で、やっぱ保健体育ってなると、どうしても考えるのが、性の発達、性教育っていう部分なんです。学研さんは優しい感じのイラスト、それに対して大修館さんはしっかりともうイラストで書かれてる。でも、それこそ、性教育、性被害とかのことを考えていくのであれば、しっかりと目で具体的にちゃんと情報が見れる方が、成長過程の中では必要なかなって私は思ったので、そこの部分でいくと、大修館さんかなっていう風に今考えています。

会 長 はい、ありがとうございます。これまでのところ、大修館というご意見と、学研、大修館で迷ってるというところまでのご意見が出ておりますけれども。で、皆さんのご意見を聞いて、大修館の内容の方が、より子ども達のこれからの学びにとっていいんじゃないかという風に聞こえたわけですが、もう少しご意見ありますか。

はい、どうぞ。

委員D はい、お願いします。とっつきやすさを取るか、内容の充実度を取るかだと

思うんですけど、今話を聞いていくと、自分の中でもやっぱり中学生である程度のところにあってほしいので、内容の充実でとってもいいのかなと思うので。今 51 対 49 ぐらいで大修館で、と思ってます。特に委員Gの言葉が、そういうところってよっぽど考えてないとその一言でも出ない言葉なので、やっぱり大事なところかなとはちょっと思っています。それが1の部分です。

会 長 ありがとうございます。他いらっしゃいますか。大丈夫ですか。
 そうしますと、ここまでの議論を踏まえますと、大修館という声が大きいかと思いますが、大修館ということでもよろしいですか。はい、ありがとうございます。

 ここで、半分過ぎたので一旦休憩となっておりますが、先ほど見てる時間ありましたので、半まで休憩ってことでよろしいでしょうか。

(暫時休憩)

会 長 では、休憩を閉じて再開したいと思います。続いて、家庭科についてご意見をいただきたいと思います。
 いかがでしょうか。はい、お願いします。

副会長 はい、お願いします。はい。家庭科は3社教科書が出てるんですが、まず調理実習についてなんですけれども、横書きになっているのが開隆堂と東京書籍で、教育図書が縦書きになっていて、その中でも、先ほど説明にもありましたけど、横並びの方が見やすいんじゃないかっていうことと、実際見てみると、開隆堂版の教科書が調理実習とてもわかりやすく、材料とか調理時間とかわかりやすく記載されていて、手順もとても良いと感じました。それと、調理方法のQ&Aとかということもありました。それから、開隆堂さんについては、108 ページなんですけど、1日に摂りたい食品の分量が実物大で、写真で大きく載っていたんです。それがとてもわかりやすいかなと思いました。ただ、ちょっとI群からVI群の食品群の例については、開隆堂さんはちょっと例が少ないのが少し残念だったなと思います。食品群については、東京書籍とか、あと教育図書さんの方がいいかなと思い、特に教育図書さんのIからVI群の食品はとても良いかなと思いました。あと、実習ということでは、先ほどもお聞きしたんですけど、布を用いた作品なんですけど、開隆堂さんについては、ファイルカバーとかタブレット端末、非常用持ち出し袋とかハーフパンツ、あとその他色々載ってたんですが、新しいものなども取り入れて掲載されておりました。で、東京書籍さんについては実習として衣服のリフォームとかリメイクが載っていて、これもいいかなと思いました。で、教育図書さんについては、布の実習例がちょっと新しさを感じないかなと思いました。で、そういったことも全部含めますと、トータル的に開隆堂さんの教科書がとてもいろんな面でわかりやすく、実習などもしやすいのかなと思ひまして、私は開隆堂さん、と思いました。

会 長 はい、ありがとうございました。他にいかがですか。はい、お願いします。

委員G 私も今の副会長のご意見と同じで、（開隆堂の教科書について）布を使った実習の作品例が、自分で作って使いたいなって思えるようなものが多かった気がしました。以上です。

会 長 ありがとうございます。

委員A 東書の内容なんですが、写真が豊富で生徒には分かりやすい、授業では使いやすいとされてるなって思います。で、開隆堂は、全体と同じような使いやすさとか、内容的にもこれ充実してると思うんですけども、高齢者との関わりの部分で、高齢者の方との様々な関わり方の説明があって、非常に生徒には理解しやすいところがあって、そういう部分は開隆堂がいいのかなという風に感じました。

会 長 ありがとうございます。他、何かご意見ございますか。
これまで開隆堂が良いという声が多いかと思いますが、開隆堂ということで皆さん、よろしいですか。

委 員 （異議なし）

会 長 はい、ありがとうございます。
次、外国語になります。よろしくお願いします。
それでは、外国語につきましてご意見をお願いいたします。
いかがでしょうか。

委員G 私は、東京書籍さんの内容っていうところにも記載があるんですけども、実生活に即した場面が設定されていて、小単元ですね。実践的なコミュニケーション力が身につく設計っていうのが魅力的だなと思いました。

会 長 はい、ありがとうございました。他にはいかがですか。はい、お願いします。

委員E 今は東書の「New Horizon」ですね。その前が開隆堂の「Sunshine」、ちょっと私もよくわからないんですけど、この2つ、どちらも使いやすそうなんじゃないかなとは思っていて、東書さんもいいし、開隆堂さんも見やすいしっていうところかなっていう風には思ってます

会 長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。
もう少しご意見伺わないと見えかねますけれども、いかがですか。

副会長 ずっと前は開隆堂の「Sunshine」、ずっとそういった流れで、で、開隆堂さんの中身がちょっと、もうちょっと濃くした方がいいんじゃないかっていうような話もあって、東京書籍さん変わったと思う。それで、一応、そういう流れできていて、小学校にも 外国語っていうのが入ってきて、で、東京書籍を使っているっていうことで、その流れからしたら、 ちょっと東京書籍さんは難し

いって話もあるようなんですが、その辺、もし克服できるのであれば、小学校から、やはり、英語、外国語って入っていくところがとても大事で、同じ流れでできているっていう方が、学びには良いのではないかとということと、コンテンツも充実しているということもありますので、ちょっとその難しさが気にならないのであれば、結構でよろしいんじゃないかなと思います。

会 長 はい、ありがとうございます。他にご意見ございますか。

これまでのご意見は、東京書籍の実生活に即した内容になっているのが子供たちにとって力になるんじゃないか。また、東京書籍、開隆堂どちらも見やすいというご意見、あとは開隆堂から東京書籍に変わった時の皆さんのご意見が、中身をもう少し濃くというようなことがあって変えた内容であり、小学校も東京書籍を使ってることから、流れを踏まえると東京書籍がいいのではないかと、ただ、実際に使ってる先生たちは多少難しいという声もあるけれども、それがもし克服されるようであれば東京書籍、というところかと思いますが、いかがでしょうか。

委員D やっぱこう、英語って自分らの年代はかなり中学から急に始まったんでかなりややこしかったんですけど、小学校時代から始まって同じ東書を使って上がっていくことであれば、連続性があるので、難しい、難しくないは、かなり僕らが思うよりは急にそれが始まるわけじゃないので、他のと比べてレベルが高かろうが、同じ教材で小学校から上がっていったので、順当に行けるんじゃないかなとは思っています。なので、今現行の東京書籍でやってみて、あまりにも（難しいの）であれば、次回あたりって話じゃないかと思っています。

会 長 それでは、外国語については東京書籍と、こういう声が多いんですけど、東京書籍ということでよろしいでしょうか。

委 員 （異議なし）

会 長 はい。ありがとうございます。

続いて、道徳へいきたいと思います。道徳につきましてご意見をお願いいたします。

委員G はい。道徳に関しまして、どの教科書も扱ってる題材とそんなに変わらないと言いますか。みんないいもの、いい話を扱っていたりします。いじめだったりとか、国籍とかの多様性だったりとか、文化の違いだったりとかがあったんですけども。ただ、その授業で道徳を学ぶ上でいいなと思ったのが、この日文さんが、道徳ノートが、1年生、2年生、3年生と3冊ついてまして、中を見ますと 本当に道徳用のノートですので、普通のキャンパスノートとかを使うよりは要点をおさえて学習に生かすことができるのではないかなと思いました。

会 長 はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか

副会長 今回の道徳ノートっていうのが出たんですが、ずっと道徳ノートについては、

こちらでは割と評価に繋がるっていうことで、いらないんじゃないかっていう流れと、あと、先ほども私の質問の中で、道德って、ICT 教育が進んでる中で、タブレットを使って自分たちの意見を発していくっていう部分で、そういうものを使えば本当に道德って（ノートが）あまり必要ないのかなって。で、私も道德の研究授業とかを見させていただいたりとかして、本当にそういった形で使ってるんです。なので、ノートがあるとその分重たくなりますし、そういう時代になってるのかなという部分では、私はノートはいらないと思っております。それから、現行は学研ということで、光村とかもいじめに関するものも多かったりして、いいなっている部分はあるんですけども、今まで使っているもので、そういった授業を見ていくのは、とてもしっかり道德の授業をしておりましたし、現行の学研で いいのではないかなというふうに感じました。

会 長 はい、ありがとうございました。

委員A どの教科書もとても素敵な教材、題材を使ってるなっていう、さっき言った通りなんですが、その中で、個人的にやっぱり挨拶の大切さっていうところ、非常に大事なところかなと思っていて、それは教育出版の方なんですけれども、そこからやっぱり 1 年生でスタートしていくことがいいのかなと思います。それと、個人的な意見なんですが、植松務さんの『「どうせ無理」をなくしたい』っていう題材なんですが、これって学校の先生にお前は無理だっていうふうに言われて、それでも頑張っでああいう結果を出してるっていう方なんです。そういう意味で、先生にもなんかこう与えるものがあるのかなと思うんで、こういう方のその教材が入ったものを使うことも、先生方にも良いアピールになるし、子供たちにとっても夢のある教材なんで、こういうものが今入った道德に関しては教材がいいのかなという風に感じてます。はい、以上です。

会 長 それは、教育出版ということですか。

委員A はい、そうです。

会 長 はいわかりました。他にいかがでしょうか。はい、お願いします。

委員C ちょっとどれが良いのかっていうところまでは決めきれていないので、ちょっと独り言に近いところになるのかなと思うんですけども、道德の授業をするにあたって、子供たちがいかに 与えられたっていうか、その題材に対していろんな話を、いろんな意見があるとか、この自分が思っていることを話をするっていう時間がすごく大事かなと思うので、ちょっと光村さんが導入の文章がちょっと長いかなって気もしていて、そこを読むのにすごい時間取られるぐらいなら、逆にもうちょっと文章が完結であって、導入がしやすい、で、その対話の時間をいっぱい持てるようなところがいいのかなっていうふうに思います。で、今学研さん使ってるってことだったんですけども、特にこれに対していいとか悪いとかいうところはないので、そのままでいいですし、皆さんの方でこういうのがいいよっていうのがあれば、こちら（学研）の方でいいの

かなっていうふうに思います。

会 長 はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

(しばし沈黙)

会 長 ここまでのところ出ているのが、道徳ノートを使うっていうことであれば、日文、ただタブレットなどを使えばっていう方向が今ここで主流になっていることを考えると、むしろの道徳ノートがなくても良いのではないかな。むしろ現行の学研で良い授業はできているというようなご意見、あとは挨拶から入る教育出版、扱ってる題材もいいというようなところのご意見が出ていて、皆様のご意見が分かれてる状況なんですけど、もう少しご意見いただけますでしょうか。

委員G 質問してもいいですか。

会 長 はい、どうぞ。

委員G アンケートで朝霞市保護者の方から、「朝霞市ではどうして中学校道徳教科書の採択がいつも学研さんなのでしょうか」という問い合わせがあります。これに答えられる方、もしいらっしゃったらお伺いしたいです。

道徳に関するアンケートも結構多くて、かといって、これがいいなっていうか、どっちかっていうとなんかワクワクしないとか、なんか絵が幼稚だとか、そういうアンケートの方が多くて。で、多分私さっき日文さんのことで言ったのは、このアンケートで、いじめ問題について考えるには、日本文教出版さんの内容が充実しているっていうアンケートを見た上で、多分もう1回読み返したんですよ、確か。で、結果、ちょっと自分の中で確かになって思うほど、他のと比べられてないんで、ノートを持ち出したっていうのもあるんですけども。いじめ問題に対して、このアンケートを基に読み返した時に、確かにちょっとその扱い方が私、好みだったんですね。ただ、他のはダメっていうこともなかったんで、あえてちょっとノートを見てみたっていうのもあるんですけども。(アンケートで)ここまで素直にちょっと聞いてくれてる方がいらっしゃったので、「なんでいつも学研なんですか」という。その、私はね、いつも学研っていうことすらちょっと知らない立場なので、そうなんだ、いつも学研なんだって思って、このアンケート読んだんですけど、何かありますか。

副会長 中学校がいつも学研っていう意味じゃなくて、小学校は学研じゃないんです。だから、朝霞とか、和光がいつも道徳は学研っていうふうに思ったのかどうかわかんないんで、そういうことで決めてるわけではないので。

委員G たまたま、要は内容を精査して、こうやって議論した上で、学研が続いてるってことですね。

副会長 そうです、小学校は現行は光村で、中学校は学研を使ってるってことなの

で。絶対道徳は学研っていうふうにして決めていることではない。

委員G もちろんそうです。いや、この人もそうは思っていないと思いますよ。あと、突出していいところがあるのかなってことだと思うんです。

副会長 （学研の教科書が）割と考える時、考える時間をもってっていう部分で、より生徒に考える時間を与えるっていうような形になってるのかなっていう部分と、他の教科書もやはり色々考えられてて、どれがいいって甲乙をつけるのはできないと。なので、内容的には全部そういったものは入っている。で、あとは授業で使いやすいとか、その授業の展開でこの教科書がより生徒に受け入れられるというか、もう使ってベストになるような教科書という意味で選んでたのかなと思うところだと思うので、今回は、だからまた新たに全部考えればいいということなんですけれども、特にそういった問題がなければまあ学研でも、っていう話だったと思います。

会 長 よろしいですか。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

委員D 自分、毎回のように一人であかつきを推して、途中で違うのに変えるっていうことを繰り返すんですが、中身が何かこう好きだっていうのがあって、毎回あかつき良いんじゃないかなと思うんですが、毎回誰も口にも上らないもので変えていくんです。で、その時に納得いくのが大体学研で、内容も見やすさもかなり良いとこついてるんじゃないかなとは思って毎回見えています。で、日文さんは内容なんかもすごくいいんですけど、やっぱりノートがついてるっていうのも毎回引っかけって、前回も確かそれで、外れてるんじゃないかなって思っています。で、光村さんだと、これだいたい前の話なんですけど、「第二国語じゃないんだから」っていうのをこちらで言った方がいらっしゃるんです。朝霞の方なんです。で、確かにそうだって思うのが強くて。で、今回もそれを踏まえて色々読んでた時に、1年生のやつっていうのは、やっぱりこう、どれも考えさせるような形でと。いい話が多いんですけど、3年生になるとちょっと押し付けが強いなっていう会社があったんですが、問題は、今、僕そのメモを家に置いてきてしまって、どの会社とか覚えてないです。なので、今これを言わないで終えたいなと思っていたんですけど、朝霞の時にはそこはちょっとその話をしたんですけど、やっぱりこう話し合って、10人いたら7人とか6人の方が意見が出て、それをみんなこういう考え方もあるんだっていうふうになる道徳の授業の方がいいと思っています。10人が10人見て10同じことを言っちゃうのは道徳ではないと思っているので、ちょっとその辺踏まえて、よく内容とか会社名覚えてる方がいれば、ちょっとまた意見いただけると。

委員G でも、それで言うと私のメモで、確かに「学研さんレールがゆるい」って書いてます。押し付けがましくない。要は自分の考えをちゃんとこういう時はこうだよ、って押し付けが少なかったっていう意味でのメモは書いてます。私も。

委員D そこが毎回なんですけど、どうしても答えが出しやすいものっていうのは、

(光村の) 独特の教材には国語がいいと思いますけどね。と個人的には思っています。

会 長 はい、ありがとうございます。他、いかがでしょうか。
これまでの議論の様子からすると、題材の内容の良さ、授業のしやすさ、見やすさ、押し付けがゆるいということで学研という声が強いかと思いますが、他にご意見ございますか。
特によろしいですか。

委員G でも私さっきの「なんでいつも学研なんですか」っていうのをもし個人的に質問された時に、やっぱり道徳というところで、「考え方を押し付けるではなくて、ちゃんと自分で考えることができるようになってるのが学研なんだよ」って説明したらすごい納得するんじゃないかなとは思いました。

会 長 はい、ありがとうございます。それでは、道徳について学研ということでよろしいですか。

委員G 総意ではないので投票ですか。

会 長 委員Aは教育出版でしたか、では、投票の前に現物確認しますか。

(暫時休憩)

会 長 それでは、再開したいと思います。
先ほどまでのご意見ですと、現行の学研が良いっていう声が多かったわけですが、教育出版が良いというご意見もございます。もう少しこれについて議論を進めたいと思いますが、いかがですか。よろしいですか。はい。では、ご意見ありましたらお願いいたします。

委員G では、改めて、今お時間いただいて拝見してみて、取り上げてる題材が、学研さんが ちょっと良かったなと思いました。

会 長 ありがとうございます。はい。他にいかがでしょうか。

委員A いろんな題材ね、他の教科書もすごいいいんですが、その中で私が子供たちに伝えたいものを選んで教育出版というふうに挙げさせていただいたので、それぞれのご意見であると思います。それでいいのかなと。

会 長 はい、わかりました。そうすると、総意ということにならないので、投票でお願いいたします。

(投票)

会 長 それでは、只今投票していただきました結果ですけれども、学研が過半数を

超えておりましたので、学研ということでもよろしいでしょうか。

委 員 (異議なし)

会 長 はい。ありがとうございます。
それでは続きまして、技術にいきたいと思います。
技術につきまして、ご意見ございましたらお願いいたします。

委員A 技術に関しては、開隆堂がバランス、ゴムの使い方などの説明がね、ちょっと詳しくて、作業の手順が丁寧で、全体的に構成が非常に良かったように感じました。

会 長 ありがとうございます。他にいかがですか。

委員G はい。私もこの調査研究報告書の中で、内容の中で知識や技能を確実に習得できるって言い切ってるのは開隆堂さんで、評価がされてるのではないかなと思います。

会 長 他にいかがですか。
現在、お2人の方が開隆堂が良いのではないかというご意見はありますけれどもいかがでしょうか。開隆堂でよろしいですか。

委 員 (異議なし)

会 長 では、技術については開隆堂ということでもよろしくをお願いいたします。
続いて、音楽に移りたいと思います。
ご意見があれば、お願いいたします。

委員F 報告にもあったんですけども、2社のうち、教育出版社の方は優しい表現と、それで、現行で教育芸術社さんですか、そちらについては詳しいという形で報告いただいていたんで、中学校の教科書としては現行も詳しい形でやってますので、現行の教育芸術社さんでいいのかなと思います。

会 長 はい、わかりました。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。はい、お願いいたします。

委員A 一般の部分では結構イメージが、写真が多くて、教育出版社の方がいいかなというふうに感じました。はい。で器楽の方ですけども、例えば尺八とか篠笛の吹き方という説明の部分って、教育出版社の方が、指の使いとかそういうところも非常に丁寧に説明されているという部分ではそちらを薦めたいと思いますが、実際に尺八やる人とかね、篠笛を吹く人なんてほぼいないと思いますので、先生方もできるのかなっていう、そういうところでは教育出版社を説明の部分ではいいかなというふうに思ってます。

- 会 長 すみません。進行上申し訳ございませんが、一般と器楽は分けて議論しますので、始めは一般の方からお願いいたします。
- 副会長 はい。私は、現行の教育芸術社の方が良いと思います。理由は、先ほどお聞きしたんですけれども、 ちょっと教科書を見た時に、譜面が教育芸術社さんの方がわかりやすく感じたんですね。で、ちょっと教育出版さんの方がちょっと薄くてわかりにくいかなっていうのと、教育芸術社の方が難しいというようなお話はあったんですが、ずっと使っている教科書ですし、音楽っていうとちょっと現実的な分野にもなるので、そういったことに接する中学生ですから、接する部分があってもいいのかなと思いました。また、埼玉県でも結構、郷土のところで教育芸術社が採用しているというところですし、教育出版さんもちょっと優しくて、子どもたち、生徒にはいいのかもしれないけれども、私は、教育芸術社さんを推したいと思います。
- 会 長 はい、ありがとうございます。他にいかがですか。はい、お願いいたします
- 委員C 私も教育芸術社さんの教科書が良いなと思って見てました。ちょっと端的ではあるんですけど、表紙がいかにもこう、音を楽しむっていうようなものが見えてくるような ところからのスタートだったのと、あと、中見て、教材の中身、題材とかいうよりかは、どちらかというとその見やすさだったり、とっつきやすさみたいところで やりやすいんじゃないか、子どもたちにとってとても楽しく取り組めるような気持ちになれるのかなというところで、こちら（教育芸術社）の方が良いかなと思いました。
- 会 長 はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
他にご意見ございませんか。
- これまでは、教育芸術社の方が譜面などが見やすい、これまでも使っているのでやや難しいっていう話は聞いているけれども、継続して使っているんじゃないか。あと、音楽を楽しむっていうような取り組みがわかるような内容になっているというものと、教育出版の方の見やすさがあるんじゃないか。あと、優しいというような声も出ています。
- 今、2社のそれぞれにご意見がありますけれども、もう少しご意見ありますか。
- 特にご意見がないということのようですが、そうしますと、2社分かれておりますので、これも投票ということによろしいですか。
- では、投票の準備をお願いいたします。
- (投票用紙配付・投票)
- 会 長 それでは、ただ、今の投票の結果ですけれども、過半数を超えているのが 教育芸術社になりますので、教育芸術社ということによろしいでしょうか。

委 員	(異議なし)
会 長	はい、ありがとうございます。 続いて、器楽の方へ移りたいと思います。ご意見お願いいたします。
委員A	はい。先ほどもお話した通りですね。説明の仕方が非常にこう、本来のその形っていうか、深い意味があって、いろんな、例えば篠笛でも型がね、指の使い方があるんだけど、ここを詳しく姿勢からその構え方、指の使いっていうのが、わかりやすく説明されている部分では、その教育出版がいいなという風に思っていますが、これ、実際に学校で吹くこと、もう尺八を吹くとかそういうことあるんでしょうか。
会 長	他にご意見ありますか。はい、お願いします。
委員G	はい。教育出版さんがどちらかというと絵で解説しているのが多くて、教育芸術社さんの方は写真での解説が多かったと思うんですが、その場合、写真の方が見やすいのではないかなと思っておりますので、教育芸術社さんかなと思っております。
会 長	はい、ありがとうございます。他いかがでしょうか。はい、お願いいたします。
委員D	実は器楽じゃない方でこっそりと教育出版にしていたんですけど、今回、教育芸術社に決まったので、その連動というか、同じ音楽の教科でっていうことを考えても、同じ教育芸術社の方がいいんじゃないかなと思います。
会 長	ありがとうございます。
副会長	今委員Dが言ったことと同じことなんですけれども、一般の方が教育芸術社に決まったということで、音楽という授業の中でやっぱり深い関わりがあるので、授業も同じ教科書の方が扱いやすいのではないかと。生徒もやりやすいのではないかとということと、使い方に多少違いはあるかもしれないんですけど、さほど問題はないかなと思いますので、私は同じく教育芸術社を推そうと思います。
会 長	はい、ありがとうございます。他にご意見ございますか。 丁寧な説明がなされている教育出版と見やすさ、それから一般との連動ということで 教育芸術社がいいのではないかという 2つの意見が出ていますけれども、いかがですか。 (しばし沈黙)
会 長	何もアクションがないですね。

委員G 総意にはならなさそうですね。

会 長 それでは、投票の用意をお願いします。

(投票用紙配付・投票)

会 長 それでは、只今の投票の結果ですが、過半数を教育芸術社が得ておりますので、教育芸術社ということでよろしいでしょうか。

委 員 (異議なし)

会 長 はい、ありがとうございます。

では、続きまして、美術に移りたいと思います。美術についてご意見がありましたらお願いします。

委員G はい。私は、開隆堂さん、現行が開隆堂さんだと思うんですけども、開隆堂さん、まず表紙のインパクトが強くて、なんか美術の時間楽しそうだなっていう。今小学校でもやっぱり1、2時間目が図工図工って続くとイエーイって感じで学校行くんですけども、やっぱり美術。そうですね、楽しく学べるんじゃないかなっていうイメージと、開いてですね、「ジョジョの奇妙な冒険」だったりと、あと見せ方、表現の仕方みたいところで、ドラえものの映画のポスターを題材に扱っていたりとか、結構身近なものがあっていいのではないかなと思いました。美術を毛嫌いするような子は出ないんじゃないかなと思いました。

会 長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。はい、お願いいたします。

委員C 私も開隆堂出版が良いなというふうに見ておりました。で、今お伝えいただいたように、本当に表紙からしてワクワクするような作りになっているところと、教科書開いた時に出てくる題材、教材の写真などがやっぱり大きく表示されていて、必要最低限の文字かなっていう感じがするので、発想であったりとか、こういうふうにしたらいかなっていうインスピレーションみたいなところが刺激されるんじゃないかなというふうに感じました。以上です。

会 長 はい、ありがとうございました。はい、お願いいたします。

委員A 午前中に先生がご説明された中で質問したんですけども、きちっとそのものを描いたり作ったりすることが良いのか、それとも発想が大事なのかっていうところで、その発想を大事にしたいっていう先生はおっしゃっていたんですね。そういう部分では、日本文教出版の本とか、面白い発想がたくさん至るところにこう詰まっているっていうところがあって、その点では日本文教出版にしたいなというふうには思っています。開隆堂の、作品をこう色々楽しむ部分は良いのかなと思ってますが、今、考えてます。

会 長 はい、ありがとうございます。他、いかがでしょうか。はい、お願いします。

副会長 今までのお話にもあったんですが、私も開隆堂で、理由は表紙もちろんなんですけれども、写真なども大きくて、関心、意欲を高められるような教科書になっているのではと。あと、中を見ますと、巨匠の鑑賞から入れるようになっているということがあります。また、中学生に馴染みのある新海誠のメッセージがあって、そこには表現について、タブレット端末の使い方などあって、そういったことも中学生は興味をもつのではないかなと思いました。また、QRコードはちょっと少なめではあるんですけども、ワークシート、先ほどちょっと説明の時にもしたんですが、鑑賞シートなどもついていて、こちらも活用できるのではないかなと思いました。また、用具の使い方についてもまとめて見れるようになっているということと、ちょっと個人的なことを申し上げると、17 ページにちょっと馴染みのあるアンドリュー＝ワイエスの作品が掲載されていて、ちょっと嬉しかったかなと思いました。はい、以上です。

会 長 ありがとうございます。他にいかがですか。

只今のところ、開隆堂が表紙のインパクトや、中を開いても写真も多く、見せ方も身近な内容で楽しく学べるイメージがあるというものと、面白い発想という点では日本文教出版も良いのではないかと、2社の声が上がっておりますが、他にご意見ございますか。

はい、お願いします。

委員E 面白い発想ができるんじゃないかという観点で私は教科書見比べていないので、できれば 日文さんの教科書をちょっと見れたらいいなと思うんです。

会 長 はい、わかりました。それでは、35 分ぐらいまででよろしいですか。

(暫時休憩)

会 長 それでは、教科書をご覧になったうえでご意見をお願いします。

委員A はい。発想が大事だっていう先生の話があって、私も同感なんですよね。で、これから子どもたち、普通のことをやってたらやっぱり伸びていかないっていか、将来的にやっぱり、ずっと違ってくるんじゃないけれども、こう、やっぱり発想力をこう持たないといけないのかなと。会社で今採用されるのも、その学力が高いよりも、なんか特別な発想力があつた方が、就職のためじゃないんですけど、そういう方が期待されてる部分がたくさんあるので、やっぱりそういうところを育てていくってことも大事な部分かなってということで、日文が半分、いや今教科書を見てみてちょっとアップしました。

会 長 はい、お願いします。

委員D もう一度見て、さっき言った通り、ちょっとメモいくつか忘れているのであれだったんですけど、日文さんの、結局ラスコーの絵ですとか壁画ですとか、ああいうのを見ていて、発想力って意味では確かに日文さんかなりあるのかなと思ったんです。で、いろんなものも取り上げ方が、悪く言うといろんなものを取り上げて、地味目というか、そういうものをやっているので、なんか好みだったんですが、開隆堂さん、最初見たら結構表紙もキャッチですし、中の題材もそういうものが多いじゃないですか。なのでダメだったんです。だけど、今見直してみると、今委員Aが言ったのと逆の話になっちゃいますけど、一般のそういう、こう、美術を職業にしていけないとか、そういうの求めている人からすると、それを見て美術を楽しむって意味では、そういうキャッチーなものをちゃんと触れて良いものだっていうのもかなり大事なんじゃないかなと思って。表紙の手触り感も、油絵なんか触る機会ないじゃないですか、こういう感じなのかなっていうのもありますし、中の題材もそういうどこかで見るものがかなりあったので、それを見ながらそれを真似して書いたりとか、そうやってやっていくのも美術のうちのかなと。全く逆の意見になっちゃうんですけど、発想力を作っていくっていう意味ではすごいこう、日文さんの方がいいところ多いんですけど、全ての子にそれが必要かっていうと、他の教科もちよっとそうですけど、その一般的な、そこで言うと、そこばっか目指すとちよっと難しいのかなっていう、全部の教育の系統もそれ言いたくなっちゃうので、ここまでにしますけど。はい。

会 長 ありがとうございます。他にいかがですか。

委員E 美術っていう教科の中で、教科書にやっぱり巨匠とか有名なこの絵が見られるっていうのはなかなか、多分それ以外のところで、子どもたちは、じゃあ今美術館、博物館に行つてそういうものに触れるかって言ったら、多分触れないのかな、触れ合う機会が少ないのかなっていうのを考えると、やっぱり巨匠の絵がしっかり載ってる開隆堂さんの方がいいのかなって気がしますし、逆に、発想力だとか、そういう想像力を求めているのであれば、ぜひ先生方の授業、うまくそういう方向に持っていつて展開してもらえたらいいのかなっていうふうにも思うので、開隆堂さんの教科書が良くなって思います。

会 長 ありがとうございます。他にはいかがですか。ご意見ありませんか。

では、今開隆堂と日本文教出版の2社が出ておりますので、投票の準備をお願いいたします。

(投票用紙配付・投票)

会 長 それでは、投票の結果についてですけれども、開隆堂が過半数を超えましたので、開隆堂ということでよろしいでしょうか。

委 員 (異議なし)

会 長 はい、ありがとうございます。

それでは、第五採択地区の採択の原案を確認いたします。

国語につきましては、光村図書。

書写につきましては、光村図書。

社会、地理的分野につきましては、東京書籍。

社会、歴史的分野につきましては、東京書籍。

社会、公民的分野につきましては、東京書籍。

地図につきましては、帝国書院。

数学につきましては、東京書籍。

理科につきましては、東京書籍。

保健体育につきましては、大修館書店。

家庭科につきましては、開隆堂。

英語につきましては、東京書籍。

道徳につきましては、学研。

技術につきましては、開隆堂。

音楽、一般につきましては、教育芸術社。

音楽、器楽合奏につきましては、教育芸術社。

美術につきましては、開隆堂。

以上、案として決定してよろしいでしょうか。

委 員 (異議なし)

会 長 ありがとうございます。

皆様のご協力により、無事協議が終了いたしました。委員の皆様には様々な御意見があらうかと思いますが、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の第13条5項に「当該採択地区内の市町村教育委員会は、協議の結果をもとに、種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならない」となっております。本日、委員の皆様の様々な御意見をもとにして行われました協議の結果に基づいて、各市定例教育委員会での採択をよろしく願いいたします。

以上を持ちまして、議長の任を解かさせていただきます。どうも御協力ありがとうございました。

5 あいさつ

司 会 それでは、第五採択地区教科用図書採択協議会 副会長よりあいさつを申し上げます。

副会長 閉会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます、本日は、ご多用の中、長時間にわたって協議をいただきありがとうございました。今日の会議が参会者の皆様のご協力により無事終わられることに感謝申し上げます。今回の協議会を通じまして、それぞれの市の教科書採択事務が円滑に進むことを望みます。皆様方には今後ともより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。簡単ではございますが、閉会の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

6 閉会

司 会 事務局から連絡を申し上げます。

事務局 それでは、各市の教育委員会で議決いただきました時点で、事務局となる朝霞市教育委員会に報告いただきますようお願いいたします。

2市の全てが第五採択地区の案を議決し、教科書が採択されましたら、事務局から御連絡いたしますので、その後、需要数の記入のために、学校へ教科書名をお知らせする期日につきましては、その後お知らせしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

司 会 以上をもちまして、第2回第五採択地区教科用図書採択協議会を閉会いたします。本日は一日、ありがとうございました。